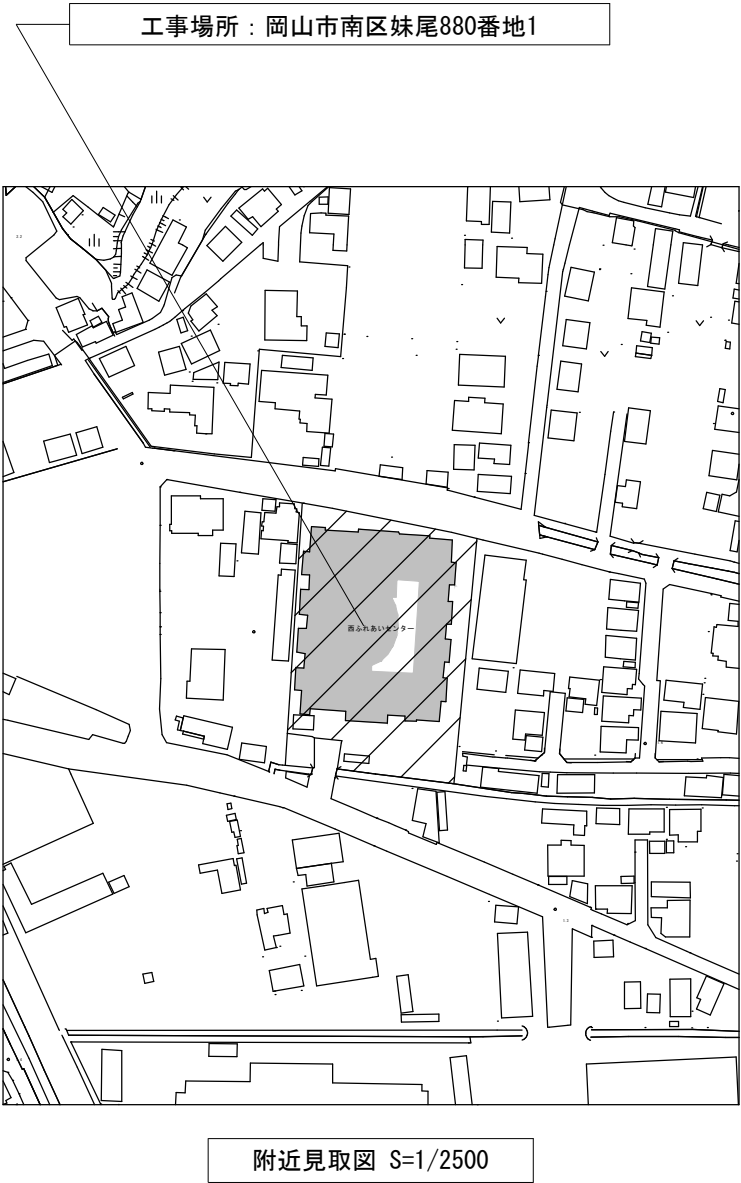


令和 8 年度

西ふれあいセンタートップライトほか改修工事

図 番	図 名	縮 尺	備 考
A-00	表紙・図面リスト・附近見取図	1/2500	
A-01	建築改修工事特記仕様書1	—	
A-02	建築改修工事特記仕様書2	—	
A-03	建築改修工事特記仕様書3	—	
A-04	建築改修工事特記仕様書4	—	
A-05	建築改修工事特記仕様書5	—	
A-06	建築改修工事特記仕様書6	—	
A-07	3階天井伏図・屋上平面図	1/400	
A-08	トップライト平面図・詳細図	1/50, 1/200	
A-09	便所改修位置図（1階平面図）	1/200	
A-10	座敷便所平面詳細図・断面図	1/50	
A-11	天井伏図・トイレブース姿図・ライニング断面図・サイン設置位置図・サイン図	1/5, 1/20, 1/50	
E-01	岡山市建築設備工事（電気）仕様書	—	
E-02	1階平面図	1/200	
E-03	トイレ平面詳細図（電灯設備、コンセント設備）	1/50	
E-04	トイレ平面詳細図（弱電設備）	1/50	
M-01	衛生設備平面図（改修前・後）	1/100	



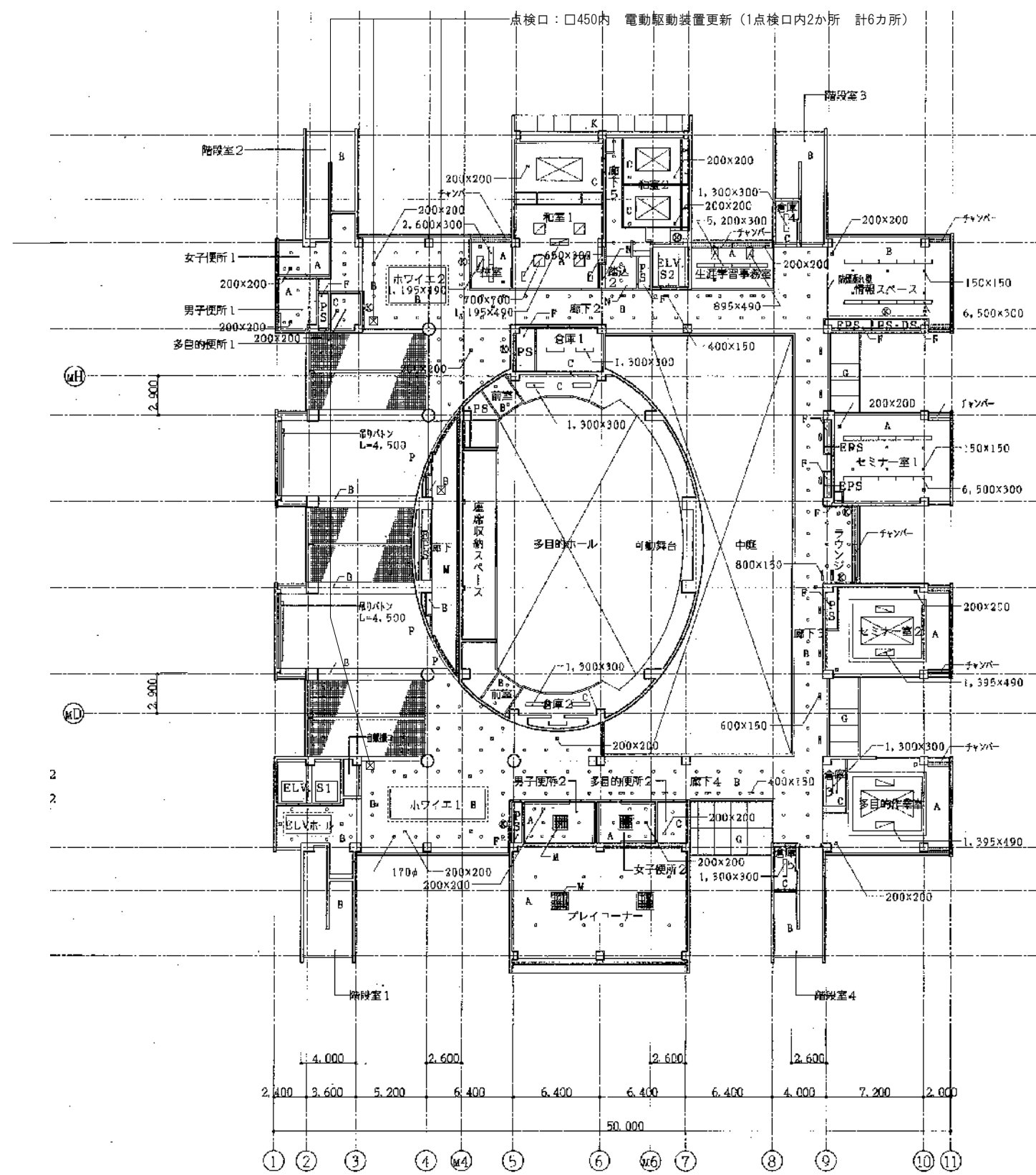
工事名	西ふれあいセンタートップライトほか改修工事				No. A-00		
図面名	表紙・図面リスト・附近見取図	縮尺	1/2500				
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和8年5月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当書	承認	検図	製図

[illegible]

6	網戸等 [5. 2. 3] [5. 3. 3]	<table><tr><th>種類</th><th>材質</th><th>線径</th><th>網目</th></tr><tr><td>・防虫網</td><td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製</td><td>※0.25mm以上 ・</td><td>※16～18メッシュ ・</td></tr><tr><td>・防鳥網</td><td>ステンレス(SUS304)線材</td><td>1.5mm</td><td>網目寸法15mm</td></tr></table>	種類	材質	線径	網目	・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・	・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm	7	樹脂製建具 [5. 3. 2～4]	性能値等 ・耐風圧性の等級(), 機械性の等級(), 水密性の等級() ※改修標準仕様書表5.3.11による種類 外部に面する建具 ・A種(建具符号) 全て ・建具表による() ・B種(建具符号) 全て ・建具表による() ・C種(建具符号) 全て ・建具表による() 防音ﾄﾞｱ、防音サッシの遮音性の等級 ・適用する(等級 ・T-1 ・T-2) ・適用しない (建具符号 ・建具表による) 断熱ﾄﾞｱ(0)、断熱サッシ(0)の断熱性の等級 ・適用する(等級 ・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8) (建具符号 ・建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 ※建具表による 表面色 ※標準色 ・特注色 取付工法 水切り板、ぜん板 ※図示 ガラス ※複層ガラス
		種類	材質	線径	網目												
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・														
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm														
8	鋼製建具 [5. 2. 2] [5. 4. 2～4]	性能値等(建具符号： ・建具表による) 簡易気密型ﾄﾞｱセット 気密性の等級 ・A-3 水密性の等級 ・W-1 外部に面する面する建具の耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6 防音ﾄﾞｱ、防音サッシの遮音性の等級 ・適用する 等級() ・適用しない 断熱ﾄﾞｱ(0)、断熱サッシ(0)の断熱性の等級 ・適用する 等級() ・適用しない 耐震ﾄﾞｱの面内変形追従性の等級 ・適用する 等級() ・適用しない ステンレス鋼板の材料 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ H L 以上 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書表5.4.2による () 使用箇所()															
9	鋼製軽量建具 [5. 2. 2] [5. 5. 2～4]	性能値等(建具符号： ・建具表による) 簡易気密型 ・適用する ・適用しない 防音ﾄﾞｱ、防音サッシの遮音性の等級 ・適用する 等級() ・適用しない 耐震ﾄﾞｱの面内変形追従性の等級 ・適用する 等級() ・適用しない 鋼板 区 分 材 質 鋼板 ※差締めつき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 召合わせ、縦小口包み板、押縁 ※鋼板 ステンレス鋼板の材料 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書表5.5.1による () 使用箇所() 防音性能を求める戸(建具表による) 防音充填材(・ガラスウール ・ロックウール)	10	ステンレス製建具 [5. 2. 2] [5. 6. 2～5]	性能値等(建具符号： ・建具表による) 簡易気密型 ・適用する ・適用しない 外部に面する面する建具の耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6 防音ﾄﾞｱ、防音サッシの遮音性の等級 ・適用する 等級() ・適用しない 断熱ﾄﾞｱ(0)、断熱サッシ(0)の断熱性の等級 ・適用する 等級() ・適用しない 耐震ﾄﾞｱの面内変形追従性の等級 ・適用する 等級() ・適用しない 鋼板(屋外) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 表面仕上げ ※H L 仕上げ ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(・a角 ・b角 ・c角)												
		11			鍵 [5. 8. 4]	マスターキー ・製作する(組) ・製作しない ・既存に絡込む 鍵箱 ・設ける(個用 組) ・設けない											
12	自動ﾄﾞｱ開閉装置 [5. 9. 2～3]	引き戸用駆動装置 性能 ※改修標準仕様書表5.9.1による ・SSLD-1 ・SSLD-2 ・OSLD-1 ・OSLD-2 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能 ※改修標準仕様書表5.9.2による 引き戸用検出装置の種類 [表5.9.1～6] ※光線(反射)センサー ・電波センサー ・音波センサー ・熱線センサー ・光電センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房操作スイッチの種類 ・大形(開・閉)押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ 取付位置 ・床面 ※天井面 ・壁面 ・無目 戸の開閉方式 ※建具表による 防錆 ・適用する ・適用しない 凍結防止措置 ・適用する ・適用しない	13	自閉式上吊り引戸装置 [5. 10. 3]	性能等 ※標準仕様書表5.10.1による												
14	重量シャッター [5. 11. 2～5]	種類 ・管理用 ・外壁用防火 ・屋内用防火 ・防煙 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度() Pa 開閉方式の種類 ※電動式(手動併用) ・手動式 [表5.10.1] 安全装置 電動シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 設置箇所 ・建具表による 電動シャッターの障害物感知装置 設置箇所 ・建具表による 屋内用防火シャッター又は防煙シャッターの危害防止装置 設置箇所 ・建具表による 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 ※Z12又はF12を満足するもの ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いる スイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板の材料 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1															
15	軽量シャッター [5. 12. 2～4]	開閉方式の種類 ※手動式 ・電動式(手動併用) [表5.11.1] 耐風圧強度() Pa 安全装置(電動シャッター) ・急降下停止装置 設置箇所 ・建具表による ・障害物感知装置 設置箇所 ・建具表による スラットの材質の種類 ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※Z06又はF06) ・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※A Z90) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形	16	オーバーヘッドﾄﾞｱ [5. 13. 2～3]	セクション材料による区分 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ 風圧力による強さの区分 ・175 ・125 ・100 ・75 ・50 開閉方式による区分 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 収納方式による区分 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチャル形 ガイドレールの材質 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス製(SUS304)厚さ2.0mm												
17	ガラス [5. 14. 2]	下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等 ※建具表による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類 組合せ 特性による種類 ※フロート合わせガラス ※フロート板合わせガラス ・1類 ・Ⅱ-1類 ・熱線吸収、フロート板合わせガラス ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類 ・網入合わせガラス ・網入り、フロート板合わせガラス ・1類 ・Ⅱ-1類 ・網入り、熱線吸収板合わせガラス ・Ⅱ-2類 ・強化ガラス 材料板ガラスの種類 材料板ガラスの種類による名称 特性による種類 ※フロートガラス ※フロート強化ガラス ・1類 ・Ⅲ類 ・熱線吸収強化ガラス ・型板ガラス ※型板強化ガラス ・熱線反射ガラス ※熱線反射強化ガラス ・複層ガラス 断熱性による区分 乾燥気体の種類 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・T1・T2・T3・T4・T5・T6 ・空気 ・7d37 Ⅰ G S 熱線反射板ガラス 材料板ガラスによる種類 色 調 ※熱線反射ガラス ・ブルー ・グレー ・高性能反射板ガラス ・ブロンズ ・シルバー 種 類 日射透へい性 耐久性 ガラスの種類 ※熱線反射ガラス ・1種 A種 ・高性能反射板ガラス ・2種 ・A種 ・B種 ・3種 B種 反射皮膜面 ※内面 ・外面 映像調整 ※行わない ・行う 材料板ガラスによる種類 性能による種類 厚さによる種類 ・熱線吸収フロート板ガラス ・1種 ・2種 ※建具表による ・熱線吸収網入り磨き板ガラス															
18	ガラス留め材 [5. 14. 2]	[表3.7.1] 建具の種類 材 種 ガラス溝の大きさ(mm) 鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ・ガスケット ※建具の製造所の仕様による アルミニウム製 ※シーリング材 ・ｶﾞｽｼｰﾄ(ｸﾞﾚｲﾝｸﾞ) ｼｰﾂ ※建具の製造所の仕様による ステンレス製 ※シーリング材 ・ガスケット ※建具の製造所の仕様による 木製 ※シーリング材 ・ガスケット ※建具の製造所の仕様による 樹脂製 ※シーリング材 ・ｶﾞｽｼｰﾄ(ｸﾞﾚｲﾝｸﾞ) ｼｰﾂ ※建具の製造所の仕様による	19	ガラスブロック積み [5. 14. 5]	表面形状 呼び寸法 厚さ 色 調 目地幅(mm) 伸縮調整目地 防火性能 (mm) (mm) クリア 乳白 平積み 曲面積み ・160 x 160 ・95 - - ※8～15 ※標準仕様書5 10～25 ※なし ・200 x 200 ・95 - - 14.5(2)(4)(a)② 10～25 ・あり ・125 ・125 壁用金属枠及び補強材 ・設ける(形状 ※図示による) 力骨 ※ステンレス鋼(SUS304)径5.5mmはしご形状複筋及び単筋 目地部の力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による 化粧目地モルタルの色() シーリングの種類() 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ・図示による 形状 ・図示による 木下地の場合のアンカー等の取付け間隔 ・図示による 工法 1章 20 適用区分による風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法												
20	ガラス用フィルム	名 称 張り面 性能値 ※ガラス飛散防止フィルム ※内張り ・外張り 飛散防止率95%以上 品質 J I S A 5 7 5 9 による															
21	付属電気設備	自動扉、電動シャッター、電動オーバーヘッドﾄﾞｱの電動機が三相電動機0.4KW以上の場合、機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び逆相用コンデンサーを設置する	22	木製建具 [5. 7. 2～4]	建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 建築物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・フラッシュ戸 表面材の合板の品質等 合板の種類 規格等 備考 ・普通合板 表面の樹種 生地、透明塗料塗り(※ｼｯｸﾞ程度) 不透明塗料塗り(※しな合板程度) 板面の品質(※広葉樹1等) 接着の程度(・1類 ・2類) ・天然木 化粧合板 樹種名() 接着の程度(・1類 ・2類) ・特殊加工 化粧合板 化粧加工の方法(・オーバーレイ ・ﾌﾞﾗｯﾄﾞ 塗装) 表面性能() タイプ 接着の程度(・1類 ・2類) ・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF) 表裏面の状態による区分() 曲げ強さによる区分() 接着剤による区分() 難燃性による区分()												
6	造作用単板積層材 [6. 5. 2]	表面板の厚さ ※表5.7.6による ・かまち戸 かまち樹種() 鏡板樹種() 見込み寸法 ・建具表による ・ふすま 張りの種別(・Ⅰ型 ・Ⅱ型) 上張り ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は藁花紙程度 縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁(素地) ・生地縁(ウレタンクレーヤー塗装) 見込み寸法 ・建具表による ・戸ぶすま 見込み寸法 ・建具表による ・紙張り障子 見込み寸法 ・建具表による 枠、くつずりの材料 ・建具表による ・JAS 1083-5 に基づく下地用製材(0) 施工箇所 樹種名 寸法(mm) 等級(材面の品質) 形状 含水率 保存処理 ※2級 ・ ※2級 ・ ・JAS 1083-2 に基づく造作用製材(0) 施工箇所 樹種名 寸法(mm) 等級(材面の品質) 形状 含水率 保存処理 見え掛り面 ※上小節 ・ 見え掛り面以外 ※小節以上 ・ ・JAS 1083-6 に基づく広葉樹製材(0) 施工箇所 樹種名 寸法(mm) 等級(材面の品質) 形状 含水率 保存処理 ※1等 ・ ※1等 ・ ・JAS 1083(製材)以外の製材(0) 施工箇所 樹種名 寸法(mm) 材面の品質 防虫処理の適用 含水率 () ・適用する 造作材の場合(※A種 ・B種) ・適用しない ・ ・JAS 1152 以外の造作用集材(0) 施工箇所 樹種名 寸法(mm) 見付け材面(面数) 見付け材面の品質 ※1等 ・2等 ・ ・JAS 1152 に基づく化粧ばり造作用集材(0) 施工箇所 品名 樹種名 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面(面数) 見付け材面の品質 化粧薄板： 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面(面数) 見付け材面の品質 芯材： 芯材： ・JAS 1152 以外の造作用集材(0) 施工箇所 樹種名 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 ※15%以下 ※15%以下 ・JAS 1152 以外の化粧ばり造作用集材(0) 施工箇所 樹種名 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 化粧薄板： 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 芯材： 芯材： ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・JAS 0701に基づく造作用単板積層材(0) [6. 5. 2] 施工箇所 品名 寸法(mm) 表面の化粧加工 防虫処理の適用 ・有り(加工 ・天然木加工 ・塗装加工) ・適用する() ・無し(等級：) ・適用しない															
7	合板等 [6. 5. 2]	・JAS 0701以外の造作用単板積層材(0) 施工箇所 寸法(mm) 表面の化粧加工 防虫処理の適用 含水率 ・有り(加工 ・天然木加工 ・塗装加工) ・適用する() ・無し() ・適用しない ・JAS 3079に基づく直交集積板(0) 施工箇所 品名 強度等級(曲げ性能) 種別 接着性能(使用環境) 樹種名 寸法(mm) ・異等級構成 直交集成板 ・同一等級構成 直交集成板 ・A種構成 ・B種構成 ・A ・B ・C ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・JAS 0233に基づく普通合板(0) [6. 5. 2] 施工箇所 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理の適用 ※5.5 ・1類 ・2類 広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※0-0以上 ・適用する() ・適用しない ・JAS 0233に基づく構造用合板(0) 施工箇所 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ(mm) 防虫処理の適用(強度等級) 曲げ強度 保存処理 ※2級以上 ・1類 ※0-0以上 ※12 (・適用する) ・適用しない ※屋外または常時湿潤状態となる場所に使用の場合は、接着の程度を特類とする。 ・JAS 0233に基づく化粧ばり構造用合板(0) 施工箇所 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理の適用 ・1類 ・特類 ・適用する() ・適用しない ※屋外または常時湿潤状態となる場所に使用の場合は、接着の程度を特類とする。 ・JAS 0233に基づく天然木化粧合板(0) 施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ(mm) 接着の程度 防虫処理の適用 ・1類 ・2類 ・適用する() ・適用しない ・JAS 0233に基づく特殊加工化粧合板(0) 施工箇所 厚さ(mm) 接着の程度 表面性能 化粧加工の方法 防虫処理の適用 ・1類 ・F ・オーバーレイ ・2類 ・F W ・プリント () ・W ・塗装 ・S W ・ ・JIS A 5908に基づくパーティクルボード(0) 施工箇所 種類 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ(mm) ※13タイプ ・ ※P又は準 ・ ※15 ・ ・JAS 0360に基づく構造用パネル(0) 施工箇所 曲げ性能(等級)(・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験) 寸法(mm) ・1類 ・2類 ・3類 ・4類 ・JIS A 5905に基づくMDF(0) 施工箇所 厚さ(mm) 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物の形状、寸法及び材質 ※かすがい ※改修標準仕様書表6.5.3に示す程度の市販品 ・図示 座金 ※改修標準仕様書表6.5.4に示す程度の市販品 ・図示 箱金物及び短冊金物 ※改修標準仕様書表6.5.5に示す程度の市販品 ・図示 接着剤 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ・薬剤の加圧注入による防虫・防蟻処理 適用部位 保存処理性能区分 ・K2 ※K3 ・K4 ・薬剤の塗布等による防虫・防蟻処理 適用部材 処理の方法 ※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②・③による ※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②・③による ※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②・③による ・薬剤の接着剤への混入による防虫・防蟻処理 適用部位() ・合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位()															
工事名	西ふれあいセナートトップライトほか改修工事				N o .												
図面名	建築改修工事特記仕様書3				A-03												
岡山	都市整備局	住宅・建設部	公共建築課	令和8年5月													
課長	課長補佐	係長	係員	担当者	承認												
					検閲												
					製図												

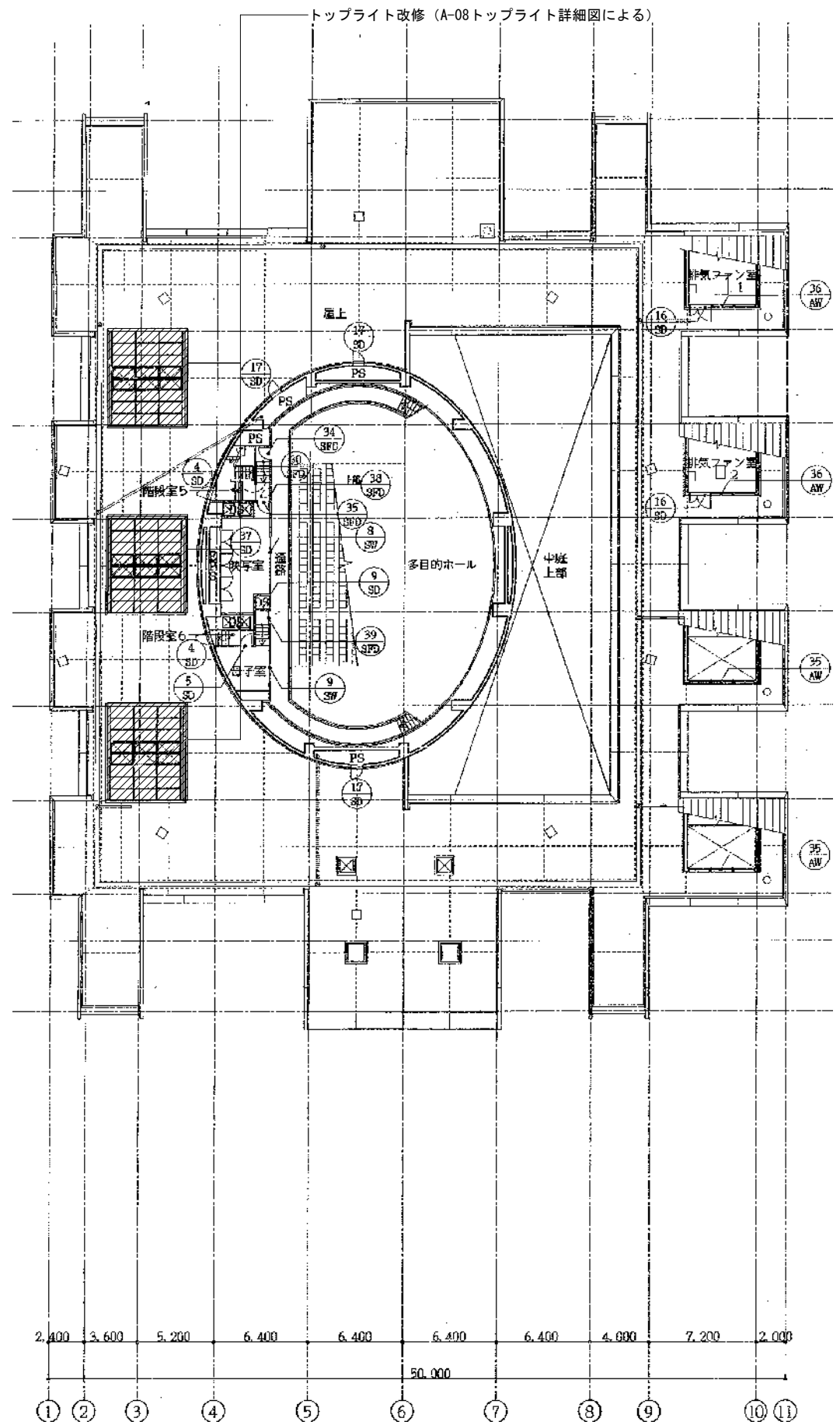
10	軽量鉄骨天井下地 [6. 6. 2~4]	野縁等の種類 屋外（※25形） ・ （ ） 屋内（※19形） ・ 25形） ・ 屋外の軒天井、ビロティ天井等 工法 1章 20 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 野縁受け、つりボルト及びインサートの間隔 ・ 図示 ・ 周辺部の端からの間隔 ・ 図示 ・ 野縁の間隔 ・ 図示 ・ 既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う（試験箇所数 ※ 図示の場合、当該箇所において3箇所 ・ （ ） （確認強度 ※ 改修標準仕様書6.6.4.1(9)による ・ （ ）） ・ 行わない ・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※ 図示 ・ ・ 天井のふところ高が3.0mを超える場合 補強方法 ※ 図示 ・ ・ 天井の下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※ 高ささが6mを超える天井 ・ 図示 補強方法 ※ 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」（平成25年国土交通省告示第771号）第3第2項第2号に適合させる。 図示	18	可動間仕切り (20. 2. 3)	JIS A 6512によるほか、下記による 構造形式による種類 ※ スタッド式（・ スタッド露出 ・ スタッド内蔵） ・ スタッドパネル式 構成基材の種類 ※ 図示による パネル表面材質及び厚さ（mm） ※ 鋼板0. 6 ・ 鋼板0. 8 ・ 仕上げ ※ マーミン樹脂焼付け又はアクリル樹脂焼付け（※常備品 ・ 指定色） パネル総厚さ（mm） ・ mm程度 遮音性（dB） ・ 0 ・ 15程度 ・ 30程度 ・ 36以上 防火性能 ・ 不燃 ・ MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・	23	有機系接着剤による タイル張り [6. 16. 4]	タイルの形状、寸法等 施工箇所 形状/寸法 再生材料 吸水率による区分 1類 2類 3類 4類 5類 6類 7類 8類 9類 10類 11類 12類 13類 14類 15類 16類 17類 18類 19類 20類 21類 22類 23類 24類 25類 26類 27類 28類 29類 30類 31類 32類 33類 34類 35類 36類 37類 38類 39類 40類 41類 42類 43類 44類 45類 46類 47類 48類 49類 50類 51類 52類 53類 54類 55類 56類 57類 58類 59類 60類 61類 62類 63類 64類 65類 66類 67類 68類 69類 70類 71類 72類 73類 74類 75類 76類 77類 78類 79類 80類 81類 82類 83類 84類 85類 86類 87類 88類 89類 90類 91類 92類 93類 94類 95類 96類 97類 98類 99類 100類 101類 102類 103類 104類 105類 106類 107類 108類 109類 110類 111類 112類 113類 114類 115類 116類 117類 118類 119類 120類 121類 122類 123類 124類 125類 126類 127類 128類 129類 130類 131類 132類 133類 134類 135類 136類 137類 138類 139類 140類 141類 142類 143類 144類 145類 146類 147類 148類 149類 150類 151類 152類 153類 154類 155類 156類 157類 158類 159類 160類 161類 162類 163類 164類 165類 166類 167類 168類 169類 170類 171類 172類 173類 174類 175類 176類 177類 178類 179類 180類 181類 182類 183類 184類 185類 186類 187類 188類 189類 190類 191類 192類 193類 194類 195類 196類 197類 198類 199類 200類 201類 202類 203類 204類 205類 206類 207類 208類 209類 210類 211類 212類 213類 214類 215類 216類 217類 218類 219類 220類 221類 222類 223類 224類 225類 226類 227類 228類 229類 230類 231類 232類 233類 234類 235類 236類 237類 238類 239類 240類 241類 242類 243類 244類 245類 246類 247類 248類 249類 250類 251類 252類 253類 254類 255類 256類 257類 258類 259類 260類 261類 262類 263類 264類 265類 266類 267類 268類 269類 270類 271類 272類 273類 274類 275類 276類 277類 278類 279類 280類 281類 282類 283類 284類 285類 286類 287類 288類 289類 290類 291類 292類 293類 294類 295類 296類 297類 298類 299類 300類 301類 302類 303類 304類 305類 306類 307類 308類 309類 310類 311類 312類 313類 314類 315類 316類 317類 318類 319類 320類 321類 322類 323類 324類 325類 326類 327類 328類 329類 330類 331類 332類 333類 334類 335類 336類 337類 338類 339類 340類 341類 342類 343類 344類 345類 346類 347類 348類 349類 350類 351類 352類 353類 354類 355類 356類 357類 358類 359類 360類 361類 362類 363類 364類 365類 366類 367類 368類 369類 370類 371類 372類 373類 374類 375類 376類 377類 378類 379類 380類 381類 382類 383類 384類 385類 386類 387類 388類 389類 390類 391類 392類 393類 394類 395類 396類 397類 398類 399類 400類 401類 402類 403類 404類 405類 406類 407類 408類 409類 410類 411類 412類 413類 414類 415類 416類 417類 418類 419類 420類 421類 422類 423類 424類 425類 426類 427類 428類 429類 430類 431類 432類 433類 434類 435類 436類 437類 438類 439類 440類 441類 442類 443類 444類 445類 446類 447類 448類 449類 450類 451類 452類 453類 454類 455類 456類 457類 458類 459類 460類 461類 462類 463類 464類 465類 466類 467類 468類 469類 470類 471類 472類 473類 474類 475類 476類 477類 478類 479類 480類 481類 482類 483類 484類 485類 486類 487類 488類 489類 490類 491類 492類 493類 494類 495類 496類 497類 498類 499類 500類 501類 502類 503類 504類 505類 506類 507類 508類 509類 510類 511類 512類 513類 514類 515類 516類 517類 518類 519類 520類 521類 522類 523類 524類 525類 526類 527類 528類 529類 530類 531類 532類 533類 534類 535類 536類 537類 538類 539類 540類 541類 542類 543類 544類 545類 546類 547類 548類 549類 550類 551類 552類 553類 554類 555類 556類 557類 558類 559類 560類 561類 562類 563類 564類 565類 566類 567類 568類 569類 570類 571類 572類 573類 574類 575類 576類 577類 578類 579類 580類 581類 582類 583類 584類 585類 586類 587類 588類 589類 590類 591類 592類 593類 594類 595類 596類 597類 598類 599類 600類 601類 602類 603類 604類 605類 606類 607類 608類 609類 610類 611類 612類 613類 614類 615類 616類 617類 618類 619類 620類 621類 622類 623類 624類 625類 626類 627類 628類 629類 630類 631類 632類 633類 634類 635類 636類 637類 638類 639類 640類 641類 642類 643類 644類 645類 646類 647類 648類 649類 650類 651類 652類 653類 654類 655類 656類 657類 658類 659類 660類 661類 662類 663類 664類 665類 666類 667類 668類 669類 670類 671類 672類 673類 674類 675類 676類 677類 678類 679類 680類 681類 682類 683類 684類 685類 686類 687類 688類 689類 690類 691類 692類 693類 694類 695類 696類 697類 698類 699類 700類
----	-------------------------	--	----	----------------------	--	----	----------------------------------	--

			下地処理 仕上げモルタルの除去 ※行う ・行わない 下地処理の範囲 ※図示 下地処理の程度 ※図示 柱及び梁の隅角部の面取り 大きさ ※図示 下地調整 ※行う ひび割れ部改修 ・行う ・行わない 種類及び部位 ※図示 引張強度試験 ・行う ・行わない ※JIS A 1191（コンクリート補強用FRPシートの引張試験方法）による 試験数量 ※図示 付着強度試験 ・行う ・行わない ※JIS A 6909（建築用仕上塗材）による 試験数量 ※図示 補強工事後の仕上げ ※構造図による ・			・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去 下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による 除去工法 ・ ※石綿障害予防規則（平成十七年二月二十四日厚生労働省第二十一号）第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法 ・集じん装置併用手工具ケレン工法 ・集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下、30～50MPa程度） ・集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上） ・超音波ケレン工法（HEPAフィルター付き掃除機併用） ・制塵剤併用手工具ケレン工法 ・制塵剤併用高圧水洗工法（30～50MPa程度） ・制塵剤併用超高圧水洗工法（100MPa以上） ・制塵剤併用超音波ケレン工法 ・集じん装置付ディスクグラインダーケレン工法 ・ 除去対象範囲 ・図示 作業場所の隔離 ※行わない ・行う 試験施工 ※行わない ・行う 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） 除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分 ※改修標準仕様書9.1.3(3)による ・ 確認及び後付け ※改修標準仕様書9.1.3(4)の(7)、(9)、(a)及び(7)による 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※図示 ・			7 ロールスクリーン (20.2.15) 8 カーテン及びカーテンレール (20.2.16) 9 点検口 10 天井見切り縁等 11 視覚障害者用床タイル（視覚障害者誘導用ブロック） (11.2.2) (19.2.2) 12 埋戻し及び盛土 (3.2.3) 13 建設発生土の処理 (3.2.5) 14 砂利地業 (4.6.2) (4.6.3) 15 捨コンクリート地業 (4.6.4) 16 床下防湿層 (4.6.5) 17 排水管 (21.2.1) 18 側溝、排水枡等 (21.2.2) 19 路床 (22.2.2～5)	操作方式 ・スプリング式 ・コード式（チェーン式） ・電動式 材種 ・図示による ・ 遮光性能 ・図示による ・ 寸法及び取付箇所 ・図示による ・ カーテン(6) 取付箇所 生地の種類、品質、特殊加工等 ひだの種類 形式 開閉操作 ・シングル ・片引き ※手引き ・ひも引き ・ダブル ・引分 ・電動 ・シングル ・片引き ※手引き ・ひも引き ・ダブル ・引分 ・電動 カーテンレール及び付属金物 施工箇所 強さによる区分 材料による区分 仕上げ 形状 カチン用付属金物 ・10～60 ※76mm及び76mm以上合金の ※76mm ※角形 ※10～90 押し出成型材 ・ ・暗幕用は300mm以上の引し合せの重掛けとする 天井 材種 アルミニウム製 寸法（mm） ※450×450 ・600×600 形式 一脱型 外枠 ・縦線タイプ ・目地タイプ 内枠 ・縦線タイプ ・目地タイプ 枠の許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 材料の品質及び性能 外枠、内枠の材質 アルミニウム合金押出型材 JIS H4100 A6063S-T5 表面処理 表14.2.1のAC-1種、AC-2種（外枠はBB-1種、BB-2種） 外枠及び内枠のコーナース、吊り金具、取付ボルト 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの 床 材種 アルミニウム製 寸法（mm） ・450×450 ※600×600 形式 ※壁内用一脱型 ・密閉形 パッキンを装着しないもの及びたつき防止用パッキンを装着したもの 枠の許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 材料の品質及び性能 受枠材、蓋枠材、コーナース、底板材、底板補強材 アルミニウム合金押出型材 JIS H4100 A6063S-T5 表面処理 表14.2.1のAB-1種、AB-2種、BB-1種、BB-2種 開閉方式 施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式 その他 製造所の仕様による 壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁（天井見切縁、下がり壁見切縁）の材種 ・アルミニウム既製品 ・ビニル既製品 材種 ・レジンコンクリート製（厚さ60mm） ・セラミックタイル製 ・ 表面形状 JIS T9251による 寸法 ※300×300 色 ※黄色 ・ 種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 D種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督職員と協議の上、六価クロム溶出試験を行うものとする。 ※構外指示の場所に応分 ・構内指示の場所に敷き均し ・構内指示の場所に堆積 材料 ※再生クラッシュラン(6) ・切込砂利及び切込砕石 厚さ及び使用範囲 ※60 ・ ・図示による ・ コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・ 設計基準強度 ※18N/mm ² ・ N/mm ² スランプ ※15cm ・18cm 厚さ及び使用範囲 厚さ 使用範囲 ※60 ・ ・図示による ・ 施工範囲 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） 防湿工法 ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・ 防湿層の位置 ※図示による ・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種B形 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・VP ・VU ・RS-VU(6) 建物外での硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること ・鉄鉄製ふた 型式 ※水封型 ・簡易密閉型 ・密閉型 ・中ふた付密閉型 適用荷重（安全荷重〔kN〕） 屋内用 ・T-2用（5） ・ 屋外用 ・T-2用（5） ※T-6用（15） ・T-20用（50） ・ 鍵 ・有 ・無 ・グレーチング 種類 形式 用途 適用荷重 メインバーピッチ 上面形状 ・鋼製 ・受枠付 ・溝ふた（横断用） ・歩行用 ・普通目 ・細目 ※凹凸形 ・ボルト ・溝ふた（側溝用） ・T-2用 ・普通目 ・細目 ・ 固定 ・樹ふた用 ・T-6用 ・普通目 ・細目 ・U字溝用 ・T-14用 ・普通目 ・細目 ・T-20用 ・普通目 ・細目 ・ステンレス製 ・受枠付 ・溝ふた（横断用） ・歩行用 ・普通目 ・細目 ・凹凸形 ・ボルト ・溝ふた（側溝用） ・T-2用 ・普通目 ・細目 ・平形 固定 ・樹ふた用 ・T-6用 ・普通目 ・細目 ・U字溝用 ・T-14用 ・普通目 ・細目 ・T-20用 ・普通目 ・細目 路床の構成 ※標準詳細図による ・ 盛土に用いる材料（表3.2.1による） ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 支持力比（CBR）試験 ※行わない ・行う（※乱した土・乱さない土） 締め固めの試験 ※行わない ・行う 現場CBR試験 ※行わない ・行う	20 路盤 (22.3.2～5) 21 アスファルト舗装 (22.4.2～6) 22 植栽地の確認 (23.1.3) 23 植栽基礎の整備 (23.2.2～4) 24 支柱材 (23.3.2) 25 新植樹木の枯補償 (23.3.4) 26 移植樹木の枯損処置 (23.3.6)	路盤の構成 ※標準詳細図による ・図示による 路盤材料 ※再生材クラッシュラン(6) ・クラッシュラン鉄鋼スラグ 締め固め試験 ※行わない ・行う 舗装の構成 ※標準詳細図による ・図示による アスファルト ※再生アスファルト(6) ・ストレータアスファルト 骨材 ※道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材(6) 加熱アスファルト混合物等の種類 ※表層 ※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13） ・ ・基層 ・粗粒度アスファルト混合物（20） シールコート ※行わない ・行う アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う 土壌の水素イオン濃度（pH）試験 ・行う ※行わない 電気伝導度（EC）の試験 ・行う ※行わない 排水 ・設置する（・暗きょ ・閉きょ ・排水層 ・縦穴排水） ・設置しない 電気伝導度（EC）の試験 ・行う ※行わない 整備工法 ※23.2.2 樹木 ・行う（※A種 ・B種 ・C種 ・D種） ※行わない 芝及び地被類 ※行う（※B種 ・） ・行わない 植込み用土 ※現場発生土の良質土 ・客土 ※丸太（間伐材） ・真竹 枯補償の期間 ※引渡の日から1年 ・ 枯補償の期間内に樹木が枯死、枝損傷、形姿不良等となった場合は、同等以上のもの再植樹するとともに、取り除いた樹木の処分を行うものとする 枯損処置の期間 ※引渡の日から1年 ・ 枯損処置の期間内に樹木が枯死の場合は、伐採及び伐根を行い、良質土で埋め戻し整地するものとする
8-7 耐震スリット新設工事	1 耐震スリットの方式、幅及び深さ (8.2.5.2) 2 耐震スリットの施工前の埋め込み配管等の探索 (8.12.4) (8.2.5.2) 3 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等 (8.2.5.2)	・完全 ・部分 設置箇所 ※構造図による 耐震スリット部詳細 ※構造図による スリットの幅及び深さ ※構造図による 既存撤去部の配管等の探索 ※鉄筋探知機（金属探知機）により探索し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつりだしによる ・耐火材 使用箇所及び仕様 ・構造図による ・ ・遮音材 使用箇所及び仕様 ・構造図による ・ 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修 ・構造図による	9 環境配慮改修工事	1 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1) (9.1.3～6)	調査 ※石綿含有建材の事前調査 1章5による ・分析による石綿含有建材の調査（施工調査） 分析対象 アクテノライト、アモサイト、アノソフィライト、クリソタイル、クロソライト、トリモライト 分析方法 分析結果については、監督職員に報告すること 材料名 定性分析 定量分析 JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2 JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4 箇所 箇所 箇所 箇所 箇所 箇所 材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・図示 ・ ・石綿粉塵濃度測定 測定時期、場所及び測定点 適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点（各施工場所ごと） ・測定1 処理作業前 処理作業室内 計 点 ・測定2 調査対象室外部の付近 計 点 ・測定3 処理作業中 処理作業室内 計 点 ※測定4 セキュリティゾーン入口 計 点 ※測定5 集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合） 出口吹出し風速1m/s以下の位置 計 点 ※測定6 処理作業室外 計 点 ・施工区画周辺 敷地境界 ※測定7 処理作業後（シート養生中） 処理作業室内 計 点 ・測定8 処理作業後（シート除去後） 処理作業室内 計 点 ・測定9 調査対象室外部の付近 計 点 1週間以降 測定方法 ・自動測定等による測定 測定名称 測定方法 ・測定4 粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 ・測定（ ） ・JIS K 3850-1に基づいた測定 ・測定4.5 測定（ ） 測定（ ） 測定（ ） メンブレンフィルタ直径（mm） 25 47 47 試料の吸引流量（l/min） ・5 ・10 ・10 試料の吸引時間（min） ・30 ・120 ・240 石綿含有建材の処理 ・石綿含有収付け材の除去（石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む） 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3(2)（ア）による ・ 除去した石綿含有収付け材の飛散防止措置 ※湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有収付け材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有保温材等の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第2種含む） 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※ 原形のまま手ばらし ・破砕して除去 除去した石綿含有収付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有けい酸カルシウム板第1種の切断、破砕等による除去 除去対象範囲 ※図示 隔離養生（負担不要）方法 ・図示 足場 ・図示 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有成形板の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第1種の手ばらしによる除去を含む） 除去対象範囲 ※図示 養生 ・行う ・行わない 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せこうボード ※埋立処分（安定型最終処分場） ・石綿含有せこうボードを除くアスベスト含有成形板 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）							
8-7 耐震スリット新設工事	1 耐震スリットの方式、幅及び深さ (8.2.5.2) 2 耐震スリットの施工前の埋め込み配管等の探索 (8.12.4) (8.2.5.2) 3 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等 (8.2.5.2)	・完全 ・部分 設置箇所 ※構造図による 耐震スリット部詳細 ※構造図による スリットの幅及び深さ ※構造図による 既存撤去部の配管等の探索 ※鉄筋探知機（金属探知機）により探索し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつりだしによる ・耐火材 使用箇所及び仕様 ・構造図による ・ ・遮音材 使用箇所及び仕様 ・構造図による ・ 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修 ・構造図による	9 環境配慮改修工事	1 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1) (9.1.3～6)	調査 ※石綿含有建材の事前調査 1章5による ・分析による石綿含有建材の調査（施工調査） 分析対象 アクテノライト、アモサイト、アノソフィライト、クリソタイル、クロソライト、トリモライト 分析方法 分析結果については、監督職員に報告すること 材料名 定性分析 定量分析 JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2 JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4 箇所 箇所 箇所 箇所 箇所 箇所 材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・図示 ・ ・石綿粉塵濃度測定 測定時期、場所及び測定点 適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点（各施工場所ごと） ・測定1 処理作業前 処理作業室内 計 点 ・測定2 調査対象室外部の付近 計 点 ・測定3 処理作業中 処理作業室内 計 点 ※測定4 セキュリティゾーン入口 計 点 ※測定5 集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合） 出口吹出し風速1m/s以下の位置 計 点 ※測定6 処理作業室外 計 点 ・施工区画周辺 敷地境界 ※測定7 処理作業後（シート養生中） 処理作業室内 計 点 ・測定8 処理作業後（シート除去後） 処理作業室内 計 点 ・測定9 調査対象室外部の付近 計 点 1週間以降 測定方法 ・自動測定等による測定 測定名称 測定方法 ・測定4 粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 ・測定（ ） ・JIS K 3850-1に基づいた測定 ・測定4.5 測定（ ） 測定（ ） 測定（ ） メンブレンフィルタ直径（mm） 25 47 47 試料の吸引流量（l/min） ・5 ・10 ・10 試料の吸引時間（min） ・30 ・120 ・240 石綿含有建材の処理 ・石綿含有収付け材の除去（石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む） 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3(2)（ア）による ・ 除去した石綿含有収付け材の飛散防止措置 ※湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有収付け材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有保温材等の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第2種含む） 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※ 原形のまま手ばらし ・破砕して除去 除去した石綿含有収付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有けい酸カルシウム板第1種の切断、破砕等による除去 除去対象範囲 ※図示 隔離養生（負担不要）方法 ・図示 足場 ・図示 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有成形板の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第1種の手ばらしによる除去を含む） 除去対象範囲 ※図示 養生 ・行う ・行わない 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せこうボード ※埋立処分（安定型最終処分場） ・石綿含有せこうボードを除くアスベスト含有成形板 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）							
8-7 耐震スリット新設工事	1 耐震スリットの方式、幅及び深さ (8.2.5.2) 2 耐震スリットの施工前の埋め込み配管等の探索 (8.12.4) (8.2.5.2) 3 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等 (8.2.5.2)	・完全 ・部分 設置箇所 ※構造図による 耐震スリット部詳細 ※構造図による スリットの幅及び深さ ※構造図による 既存撤去部の配管等の探索 ※鉄筋探知機（金属探知機）により探索し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつりだしによる ・耐火材 使用箇所及び仕様 ・構造図による ・ ・遮音材 使用箇所及び仕様 ・構造図による ・ 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修 ・構造図による	9 環境配慮改修工事	1 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1) (9.1.3～6)	調査 ※石綿含有建材の事前調査 1章5による ・分析による石綿含有建材の調査（施工調査） 分析対象 アクテノライト、アモサイト、アノソフィライト、クリソタイル、クロソライト、トリモライト 分析方法 分析結果については、監督職員に報告すること 材料名 定性分析 定量分析 JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2 JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4 箇所 箇所 箇所 箇所 箇所 箇所 材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・図示 ・ ・石綿粉塵濃度測定 測定時期、場所及び測定点 適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点（各施工場所ごと） ・測定1 処理作業前 処理作業室内 計 点 ・測定2 調査対象室外部の付近 計 点 ・測定3 処理作業中 処理作業室内 計 点 ※測定4 セキュリティゾーン入口 計 点 ※測定5 集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合） 出口吹出し風速1m/s以下の位置 計 点 ※測定6 処理作業室外 計 点 ・施工区画周辺 敷地境界 ※測定7 処理作業後（シート養生中） 処理作業室内 計 点 ・測定8 処理作業後（シート除去後） 処理作業室内 計 点 ・測定9 調査対象室外部の付近 計 点 1週間以降 測定方法 ・自動測定等による測定 測定名称 測定方法 ・測定4 粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 ・測定（ ） ・JIS K 3850-1に基づいた測定 ・測定4.5 測定（ ） 測定（ ） 測定（ ） メンブレンフィルタ直径（mm） 25 47 47 試料の吸引流量（l/min） ・5 ・10 ・10 試料の吸引時間（min） ・30 ・120 ・240 石綿含有建材の処理 ・石綿含有収付け材の除去（石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む） 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3(2)（ア）による ・ 除去した石綿含有収付け材の飛散防止措置 ※湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有収付け材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有保温材等の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第2種含む） 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※ 原形のまま手ばらし ・破砕して除去 除去した石綿含有収付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有けい酸カルシウム板第1種の切断、破砕等による除去 除去対象範囲 ※図示 隔離養生（負担不要）方法 ・図示 足場 ・図示 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有成形板の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第1種の手ばらしによる除去を含む） 除去対象範囲 ※図示 養生 ・行う ・行わない 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せこうボード ※埋立処分（安定型最終処分場） ・石綿含有せこうボードを除くアスベスト含有成形板 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）							
8-7 耐震スリット新設工事	1 耐震スリットの方式、幅及び深さ (8.2.5.2) 2 耐震スリットの施工前の埋め込み配管等の探索 (8.12.4) (8.2.5.2) 3 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等 (8.2.5.2)	・完全 ・部分 設置箇所 ※構造図による 耐震スリット部詳細 ※構造図による スリットの幅及び深さ ※構造図による 既存撤去部の配管等の探索 ※鉄筋探知機（金属探知機）により探索し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつりだしによる ・耐火材 使用箇所及び仕様 ・構造図による ・ ・遮音材 使用箇所及び仕様 ・構造図による ・ 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修 ・構造図による	9 環境配慮改修工事	1 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1) (9.1.3～6)	調査 ※石綿含有建材の事前調査 1章5による ・分析による石綿含有建材の調査（施工調査） 分析対象 アクテノライト、アモサイト、アノソフィライト、クリソタイル、クロソライト、トリモライト 分析方法 分析結果については、監督職員に報告すること 材料名 定性分析 定量分析 JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2 JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4 箇所 箇所 箇所 箇所 箇所 箇所 材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・図示 ・ ・石綿粉塵濃度測定 測定時期、場所及び測定点 適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点（各施工場所ごと） ・測定1 処理作業前 処理作業室内 計 点 ・測定2 調査対象室外部の付近 計 点 ・測定3 処理作業中 処理作業室内 計 点 ※測定4 セキュリティゾーン入口 計 点 ※測定5 集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合） 出口吹出し風速1m/s以下の位置 計 点 ※測定6 処理作業室外 計 点 ・施工区画周辺 敷地境界 ※測定7 処理作業後（シート養生中） 処理作業室内 計 点 ・測定8 処理作業後（シート除去後） 処理作業室内 計 点 ・測定9 調査対象室外部の付近 計 点 1週間以降 測定方法 ・自動測定等による測定 測定名称 測定方法 ・測定4 粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 ・測定（ ） ・JIS K 3850-1に基づいた測定 ・測定4.5 測定（ ） 測定（ ） 測定（ ） メンブレンフィルタ直径（mm） 25 47 47 試料の吸引流量（l/min） ・5 ・10 ・10 試料の吸引時間（min） ・30 ・120 ・240 石綿含有建材の処理 ・石綿含有収付け材の除去（石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む） 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3(2)（ア）による ・ 除去した石綿含有収付け材の飛散防止措置 ※湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有収付け材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有保温材等の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第2種含む） 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※ 原形のまま手ばらし ・破砕して除去 除去した石綿含有収付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有けい酸カルシウム板第1種の切断、破砕等による除去 除去対象範囲 ※図示 隔離養生（負担不要）方法 ・図示 足場 ・図示 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有成形板の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第1種の手ばらしによる除去を含む） 除去対象範囲 ※図示 養生 ・行う ・行わない 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せこうボード ※埋立処分（安定型最終処分場） ・石綿含有せこうボードを除くアスベスト含有成形板 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）							
8-7 耐震スリット新設工事	1 耐震スリットの方式、幅及び深さ (8.2.5.2) 2 耐震スリットの施工前の埋め込み配管等の探索 (8.12.4) (8.2.5.2) 3 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等 (8.2.5.2)	・完全 ・部分 設置箇所 ※構造図による 耐震スリット部詳細 ※構造図による スリットの幅及び深さ ※構造図による 既存撤去部の配管等の探索 ※鉄筋探知機（金属探知機）により探索し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつりだしによる ・耐火材 使用箇所及び仕様 ・構造図による ・ ・遮音材 使用箇所及び仕様 ・構造図による ・ 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修 ・構造図による	9 環境配慮改修工事	1 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1) (9.1.3～6)	調査 ※石綿含有建材の事前調査 1章5による ・分析による石綿含有建材の調査（施工調査） 分析対象 アクテノライト、アモサイト、アノソフィライト、クリソタイル、クロソライト、トリモライト 分析方法 分析結果については、監督職員に報告すること 材料名 定性分析 定量分析 JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2 JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4 箇所 箇所 箇所 箇所 箇所 箇所 材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・図示 ・ ・石綿粉塵濃度測定 測定時期、場所及び測定点 適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点（各施工場所ごと） ・測定1 処理作業前 処理作業室内 計 点 ・測定2 調査対象室外部の付近 計 点 ・測定3 処理作業中 処理作業室内 計 点 ※測定4 セキュリティゾーン入口 計 点 ※測定5 集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合） 出口吹出し風速1m/s以下の位置 計 点 ※測定6 処理作業室外 計 点 ・施工区画周辺 敷地境界 ※測定7 処理作業後（シート養生中） 処理作業室内 計 点 ・測定8 処理作業後（シート除去後） 処理作業室内 計 点 ・測定9 調査対象室外部の付近 計 点 1週間以降 測定方法 ・自動測定等による測定 測定名称 測定方法 ・測定4 粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 ・測定（ ） ・JIS K 3850-1に基づいた測定 ・測定4.5 測定（ ） 測定（ ） 測定（ ） メンブレンフィルタ直径（mm） 25 47 47 試料の吸引流量（l/min） ・5 ・10 ・10 試料の吸引時間（min） ・30 ・120 ・240 石綿含有建材の処理 ・石綿含有収付け材の除去（石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む） 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3(2)（ア）による ・ 除去した石綿含有収付け材の飛散防止措置 ※湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有収付け材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有保温材等の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第2種含む） 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※ 原形のまま手ばらし ・破砕して除去 除去した石綿含有収付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有けい酸カルシウム板第1種の切断、破砕等による除去 除去対象範囲 ※図示 隔離養生（負担不要）方法 ・図示 足場 ・図示 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有成形板の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第1種の手ばらしによる除去を含む） 除去対象範囲 ※図示 養生 ・行う ・行わない 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せこうボード ※埋立処分（安定型最終処分場） ・石綿含有せこうボードを除くアスベスト含有成形板 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）							
8-7 耐震スリット新設工事	1 耐震スリットの方式、幅及び深さ (8.2.5.2) 2 耐震スリットの施工前の埋め込み配管等の探索 (8.12.4) (8.2.5.2) 3 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等 (8.2.5.2)	・完全 ・部分 設置箇所 ※構造図による 耐震スリット部詳細 ※構造図による スリットの幅及び深さ ※構造図による 既存撤去部の配管等の探索 ※鉄筋探知機（金属探知機）により探索し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつりだしによる ・耐火材 使用箇所及び仕様 ・構造図による ・ ・遮音材 使用箇所及び仕様 ・構造図による ・ 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修 ・構造図による	9 環境配慮改修工事	1 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1) (9.1.3～6)	調査 ※石綿含有建材の事前調査 1章5による ・分析による石綿含有建材の調査（施工調査） 分析対象 アクテノライト、アモサイト、アノソフィライト、クリソタイル、クロソライト、トリモライト 分析方法 分析結果については、監督職員に報告すること 材料名 定性分析 定量分析 JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2 JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4 箇所 箇所 箇所 箇所 箇所 箇所 材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・図示 ・ ・石綿粉塵濃度測定 測定時期、場所及び測定点 適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点（各施工場所ごと） ・測定1 処理作業前 処理作業室内 計 点 ・測定2 調査対象室外部の付近 計 点 ・測定3 処理作業中 処理作業室内 計 点 ※測定4 セキュリティゾーン入口 計 点 ※測定5 集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合） 出口吹出し風速1m/s以下の位置 計 点 ※測定6 処理作業室外 計 点 ・施工区画周辺 敷地境界 ※測定7 処理作業後（シート養生中） 処理作業室内 計 点 ・測定8 処理作業後（シート除去後） 処理作業室内 計 点 ・測定9 調査対象室外部の付近 計 点 1週間以降 測定方法 ・自動測定等による測定 測定名称 測定方法 ・測定4 粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 ・測定（ ） ・JIS K 3850-1に基づいた測定 ・測定4.5 測定（ ） 測定（ ） 測定（ ） メンブレンフィルタ直径（mm） 25 47 47 試料の吸引流量（l/min） ・5 ・10 ・10 試料の吸引時間（min） ・30 ・120 ・240 石綿含有建材の処理 ・石綿含有収付け材の除去（石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む） 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3(2)（ア）による ・ 除去した石綿含有収付け材の飛散防止措置 ※湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有収付け材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有保温材等の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第2種含む） 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※ 原形のまま手ばらし ・破砕して除去 除去した石綿含有収付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有けい酸カルシウム板第1種の切断、破砕等による除去 除去対象範囲 ※図示 隔離養生（負担不要）方法 ・図示 足場 ・図示 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・石綿含有成形板の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第1種の手ばらしによる除去を含む） 除去対象範囲 ※図示 養生 ・行う ・行わない 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せこうボード ※埋立処分（安定型最終処分場） ・石綿含有せこうボードを除くアスベスト含有成形板 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）							
8-7 耐震スリット新設工事	1 耐震スリットの方式、幅及び深さ (8.2.5.2) 2 耐震スリットの施工前の埋め込み配管等の探索 (8.12.4) (8.2.5.2) 3 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等 (8.2.5.2)	・完全 ・部分 設置箇所 ※構造図による 耐震スリット部詳細 ※構造図による スリットの幅及び深さ ※構造図による 既存撤去部の配管等の探索 ※鉄筋探知機（金属探知機）により探索し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつりだしによる ・耐火材 使用箇所及び仕様 ・構造図による ・ ・遮音材 使用箇所及び仕様 ・構造図による ・ 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修 ・構造図による	9 環境配慮改修工事	1 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1) (9.1.3～6)	調査 ※石綿含有建材の事前調査 1章5による ・分析による石綿含有建材の調査（施工調査） 分析対象 アクテノライト、アモサイト、アノソフィライト、クリソタイル、クロソライト、トリモライト 分析方法 分析結果については、監督職員に報告すること 材料名 定性分析 定量分析 JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2 JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4 箇所 箇所 箇所 箇所 箇所 箇所 材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・図示 ・ ・石綿粉塵濃度測定 測定時期、場所及び測定点 適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点（各施工場所ごと） ・測定1 処理作業前 処理作業室内 計 点 ・測定2 調査対象室外部の付近 計 点 ・測定3 処理作業中 処理作業室内 計 点 ※測定4 セキュリティゾーン入口 計 点 ※測定5 集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合） 出口吹出し風速1m							



3階天井伏図 S=1/400

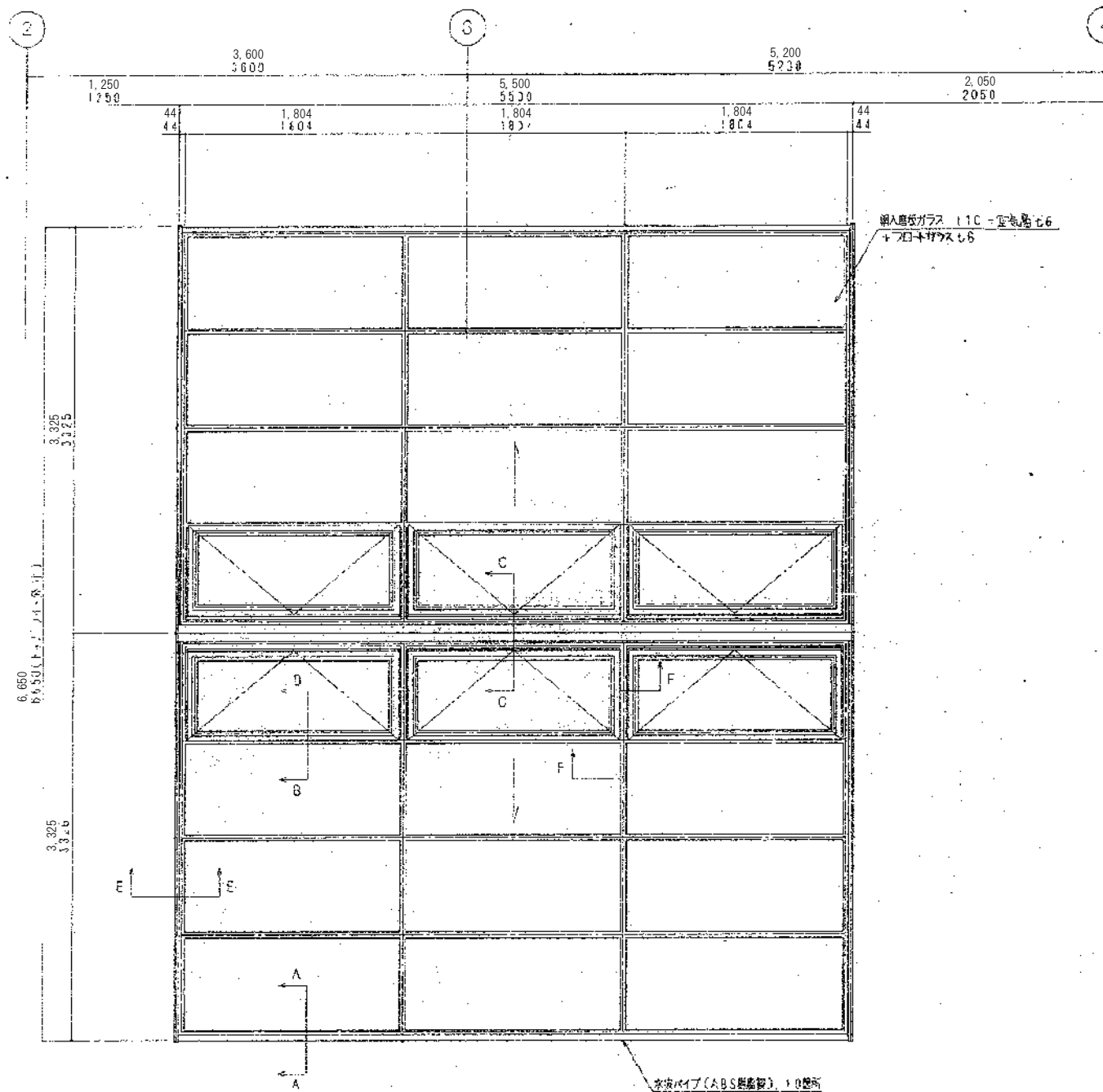
- 【特記事項】
- ・トップライト部分の改修に係る仮設はバタ板程度とする
 - ・工事に際しては、安全対策に十分留意し、施設利用者、通行者、通行車両や近隣に細心の注意を払い施工すること
 - ・施工時間帯・施工ヤードについては、施設関係者、市監督員と十分協議の上着手のこと。



屋上平面図 S=1/400

改修対象範囲を示す

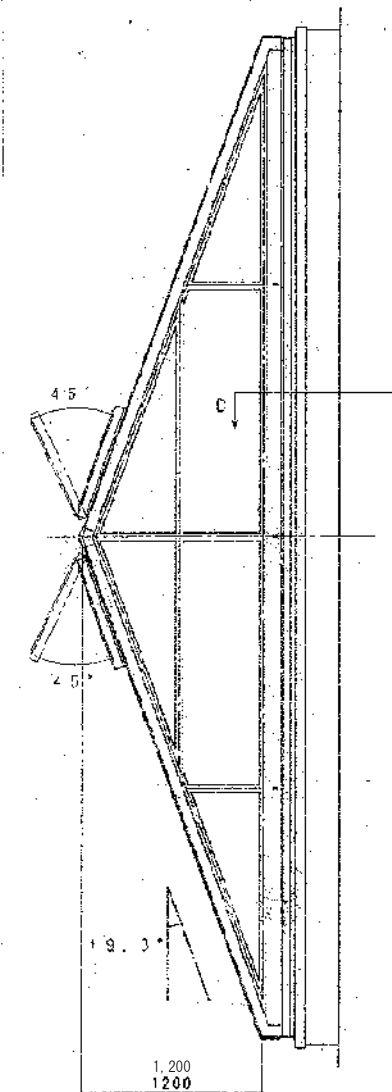
工事名		西ふれあいセンタートップライトほか改修工事				No.	
図面名		3階天井伏図・屋上平面図		縮尺	1/400		
岡山市		都市整備局		住宅・建築部		公共建築課	
				令和8年5月			
課長		課長補佐		係長		課員	
						担当者	
						承認	
						検図	
						製図	



トプライト詳細図 (平面図) S=1/50

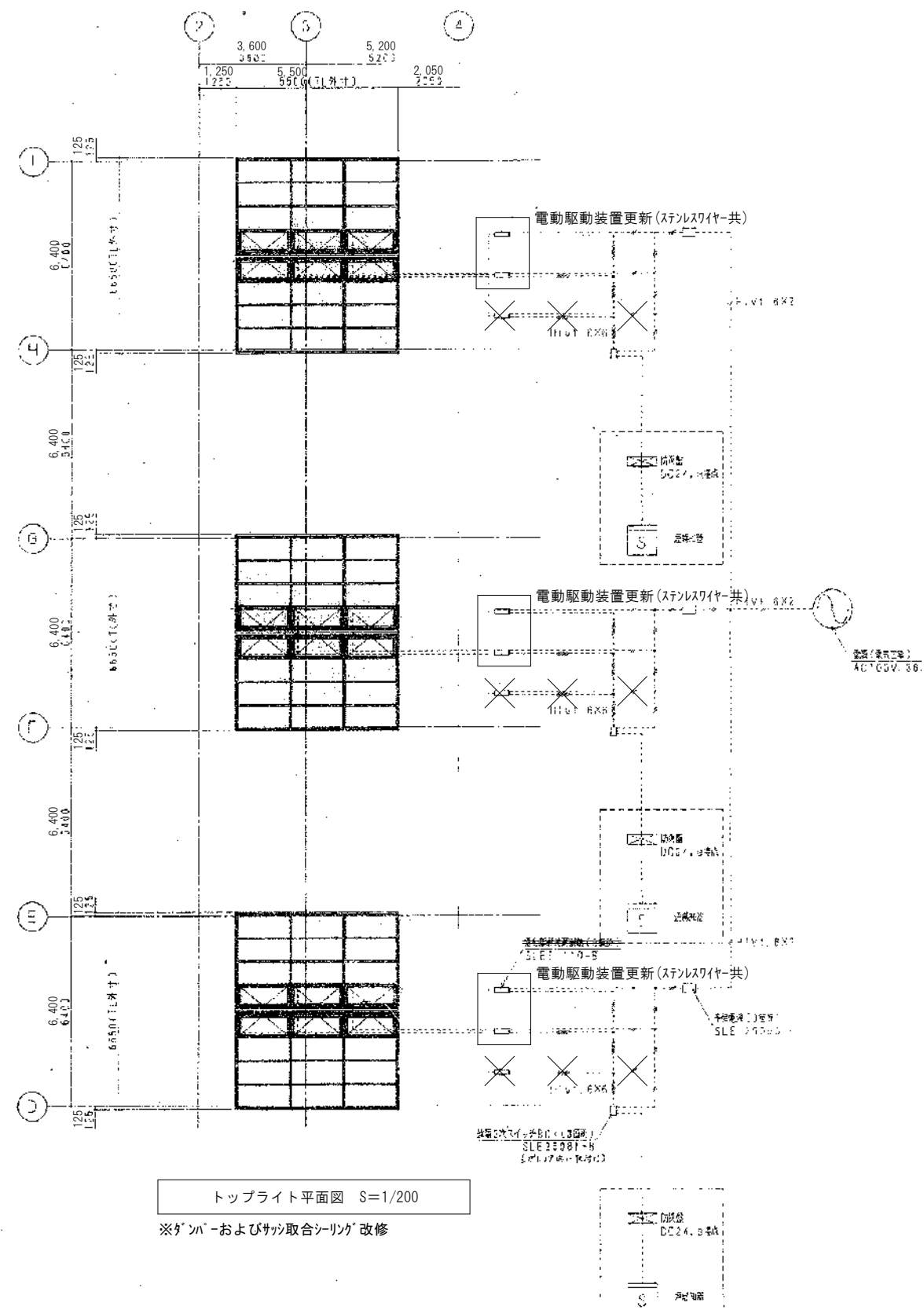
※ダンパーおよびサッシ取合シーリング 改修

トプライト仕様
アルミ樹脂複合材・・・電解着色
クォーターガラス・・・GR (ブラック)
カバー・・・SUS304、黒粉塗装
ブラケット・・・SUS304、黒粉塗装



トプライト詳細図 (立面図) S=1/50

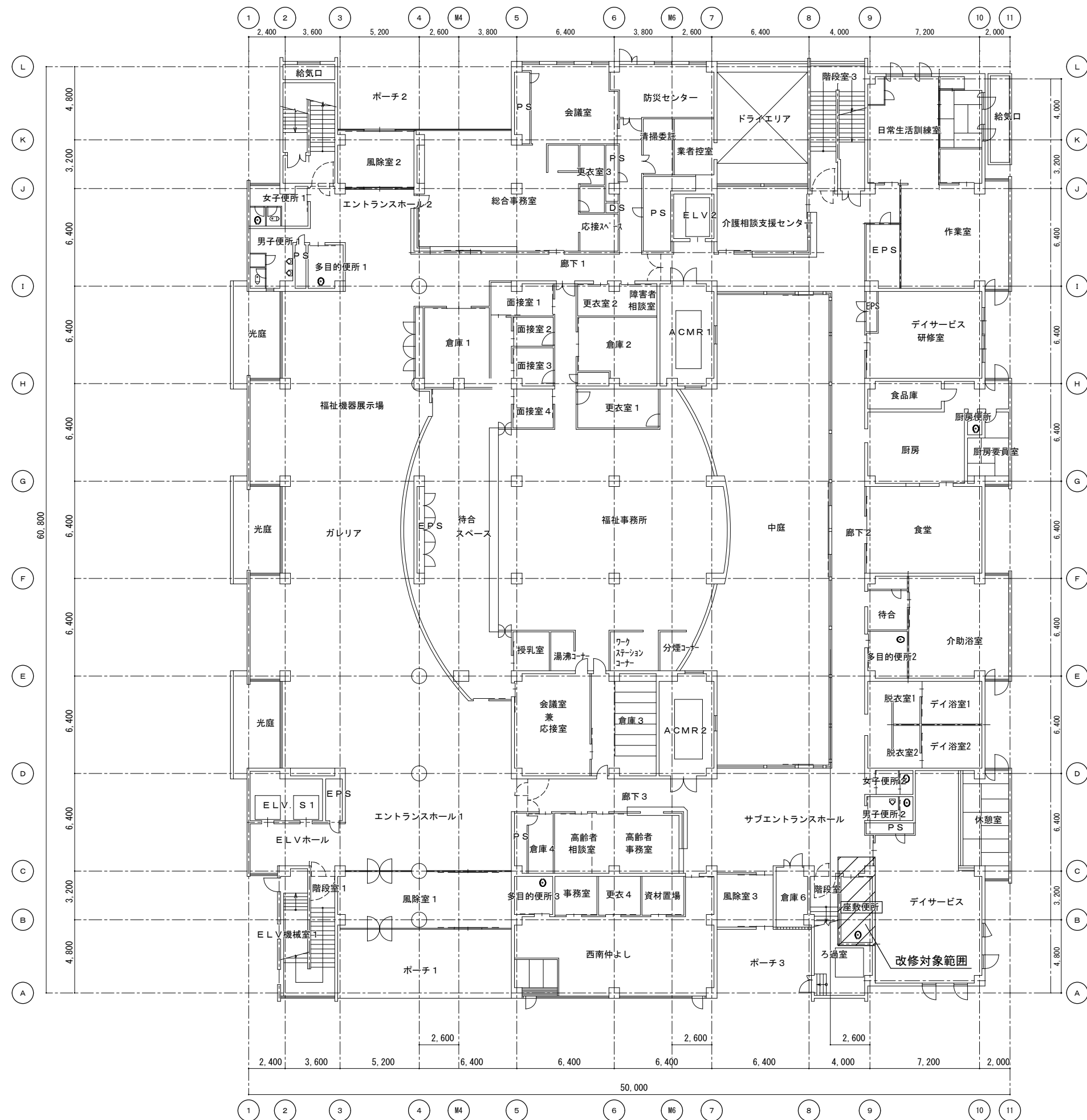
※ダンパーおよびサッシ取合シーリング 改修



トプライト平面図 S=1/200

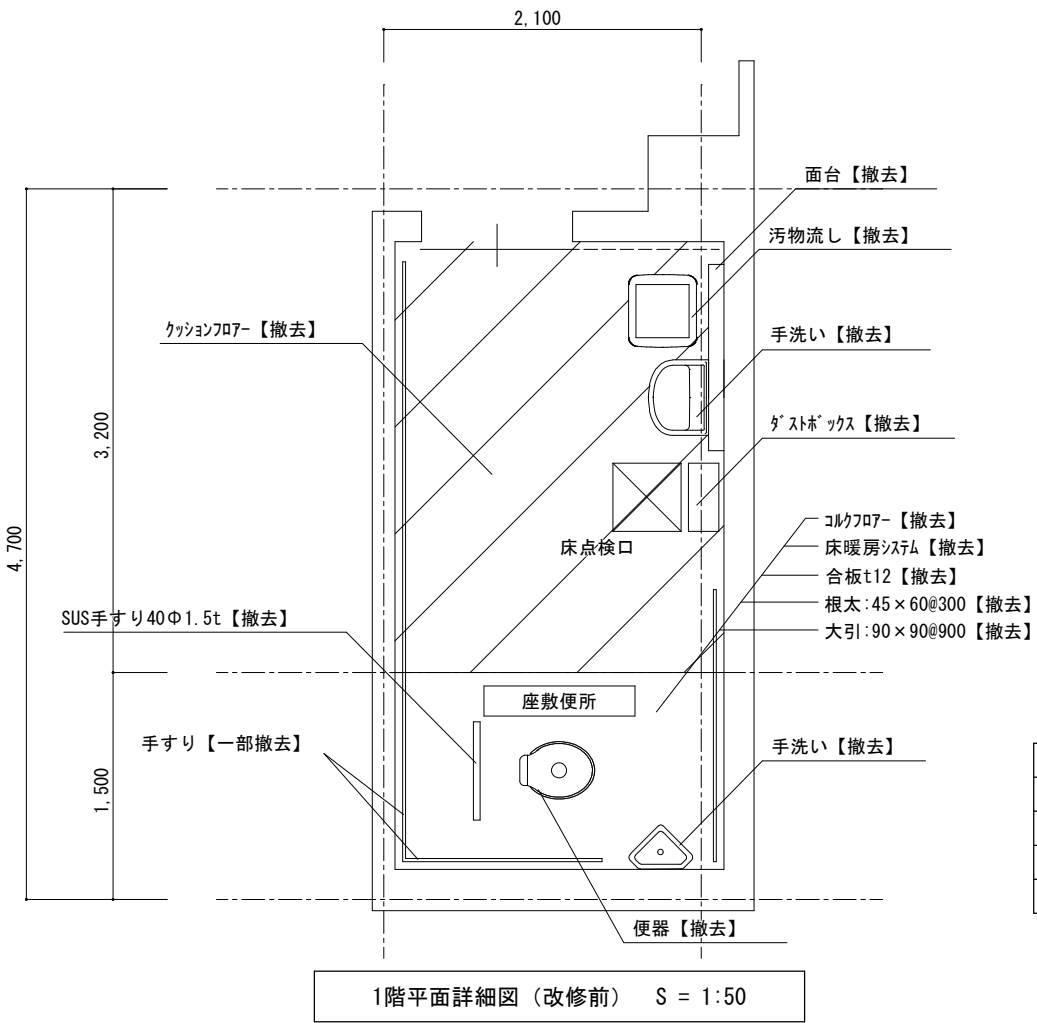
※ダンパーおよびサッシ取合シーリング 改修

工事名	西ふれあいセンタートプライトほか改修工事					No.	A-08		
図面名	トプライト平面図・詳細図					縮尺	1/50, 1/200		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和8年5月					担当者			
課長	課長補佐	係長	係員	担当者	承認	検印	製図		

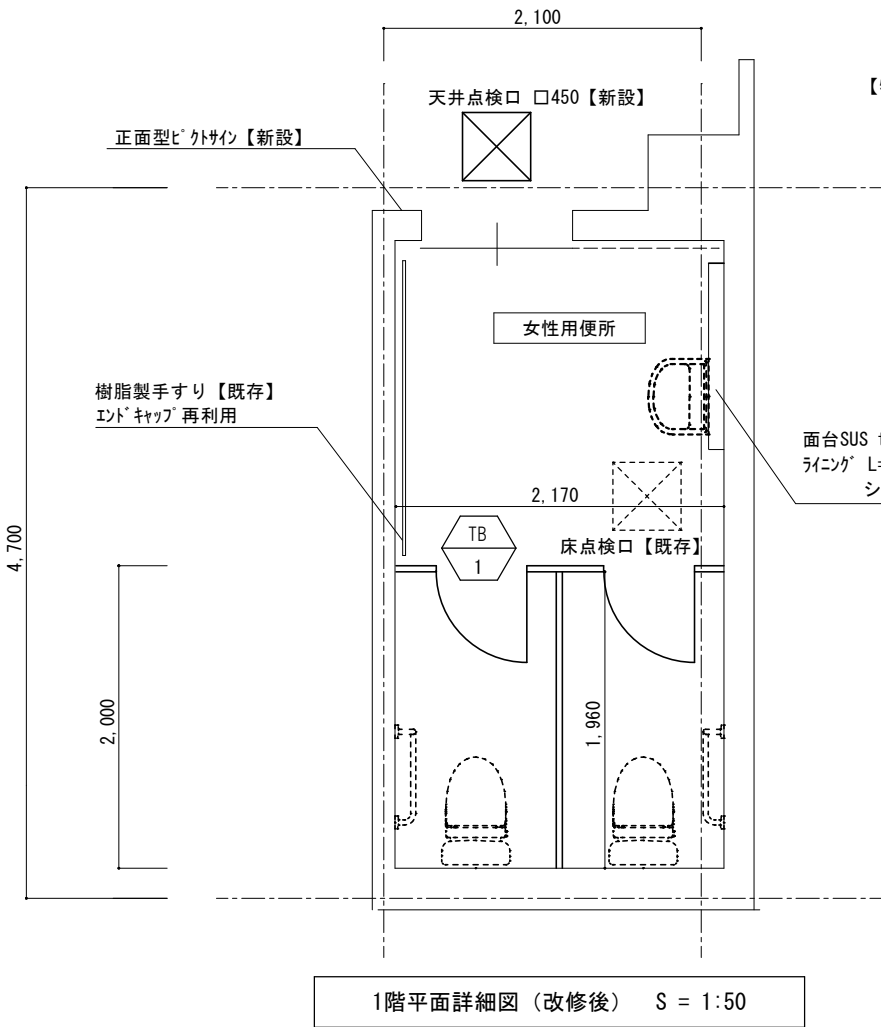
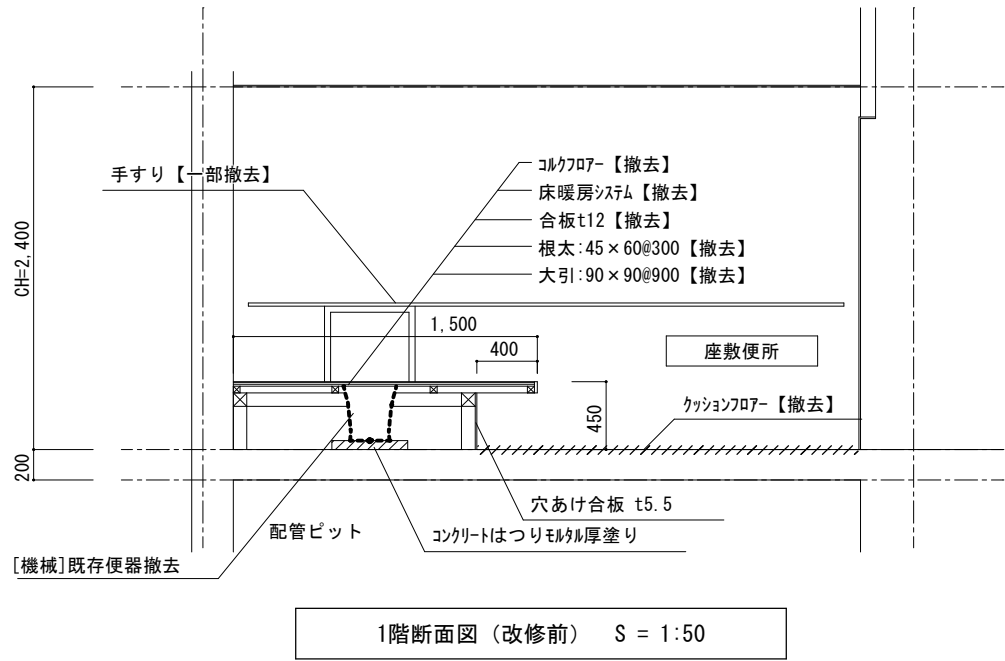


1階平面図 S = 1 : 200

工事名				西ふれあいセンタートップライトほか改修工事		No.	
図面名				便所改修位置図 (1階平面図)		A-09	
岡山市 都市整備局 住宅・建設部 公共建築課				令和8年5月			
課長		課長補佐		係長		係員	
						担当者	
						承認	
						検図	
						製図	



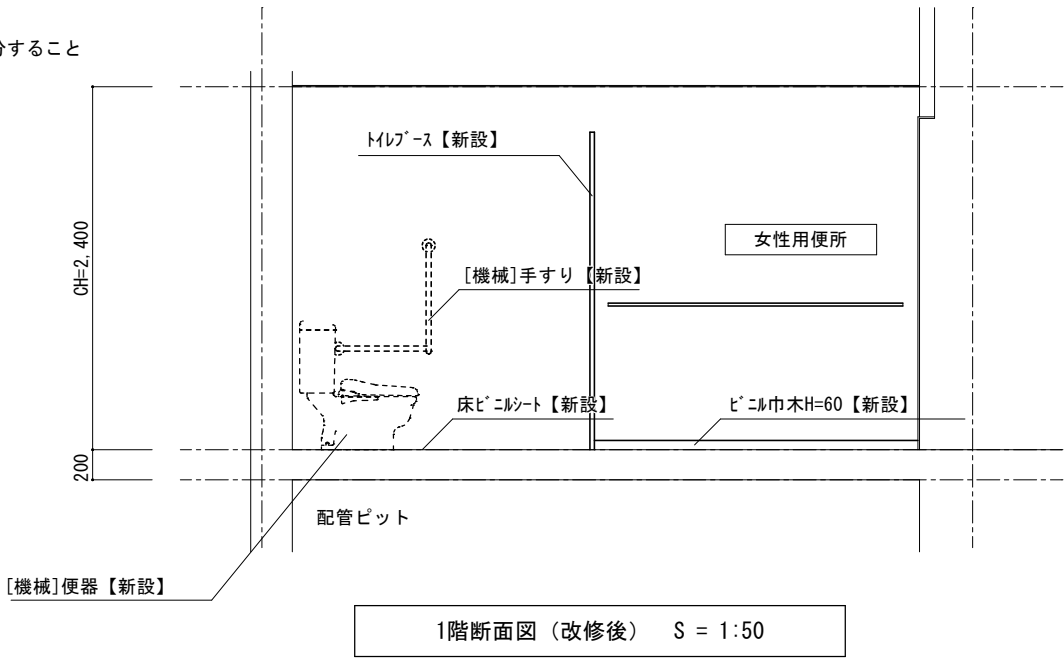
箇所	仕様	改修内容
便所床	クッションフロア	【撤去】
巾木	ビニル巾木 H=60	【撤去】
壁	ケイカル板t8+ビニルクロス	【クロス撤去】
天井	化粧石膏ボードt9.5（不燃認定品）	【一部撤去】



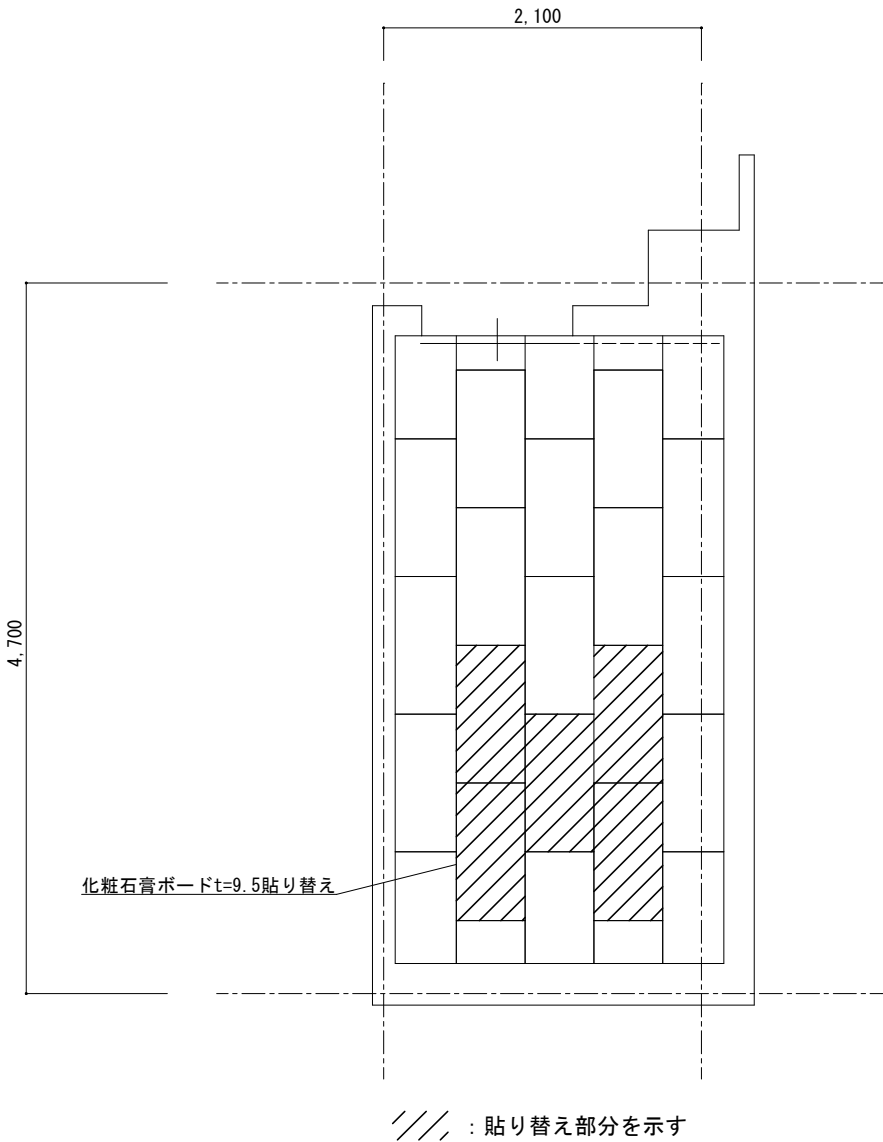
- 【特記事項】
- ・石膏ボード、ケイカル板、ビニル巾木等の廃棄物は石綿含有廃棄物（レベル3）としてみなし処分すること
 - ・壁面については下地を可能な限り再利用し、ビニルクロスの張替えを行うこと
 - ・壁面手すりは既存のものを切断し、既存のエンドキャップを再利用すること
 - ・床についてはクッションフロア撤去後レベル調整をした上で施工すること
 - ・天井については設備工事新設に伴い必要な部分は撤去し、既存設備撤去後跡については新規にボードを貼りつけること。
 - ・既存座敷便所を女性用便所に改修する。

面台SUS t=1.2 HL仕上【新規】
ライニング L=1,300 H=1,250 LGS65@450, 構造用合板t=12
シーリング石こうボードt=9.5, 化粧ケイカル板t=6.0張り【新規】

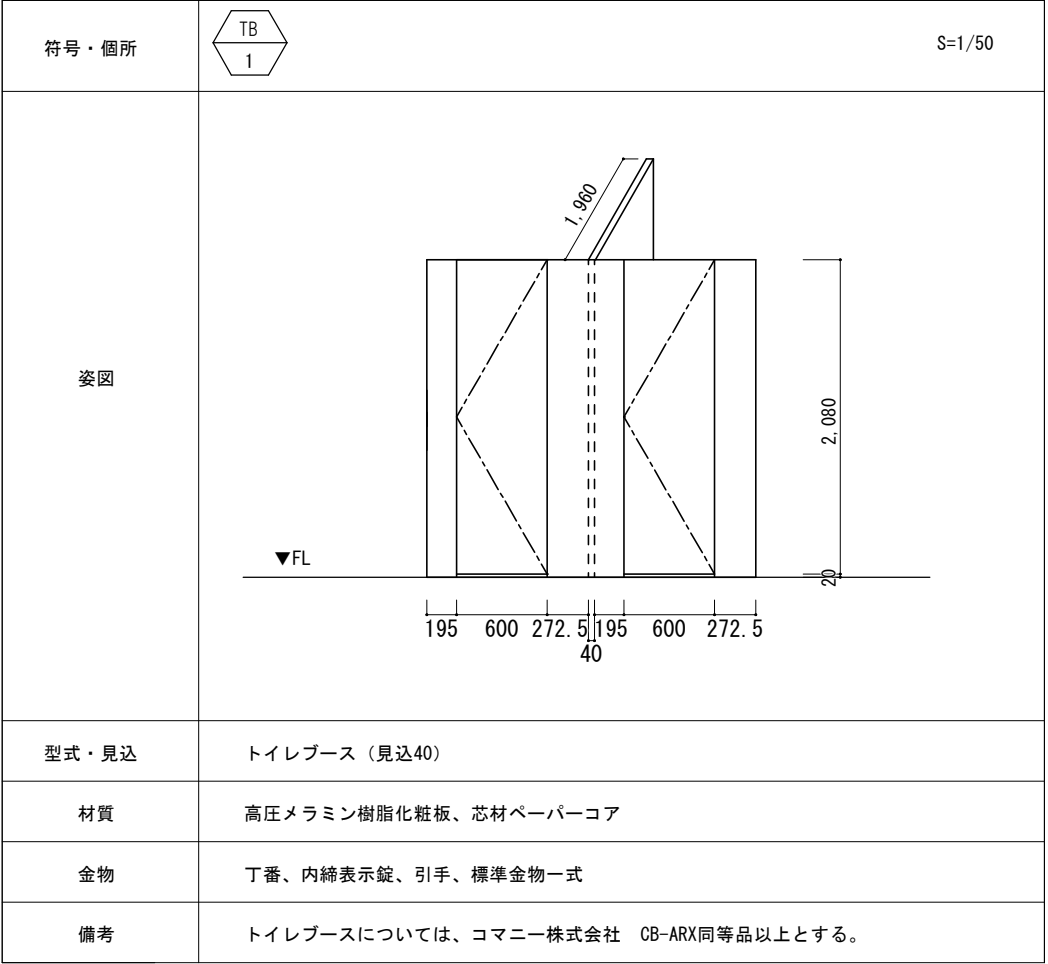
箇所	仕様	改修内容
便所床	下地調整後、ビニル床シート貼りt=2.5（点検口含む全面）	【新規】
巾木	ビニル巾木 H=60	【新規】
壁	ビニルクロス	【新規】
天井	一部化粧石膏ボードt=9.5貼り替え（別図参照）	【改修】



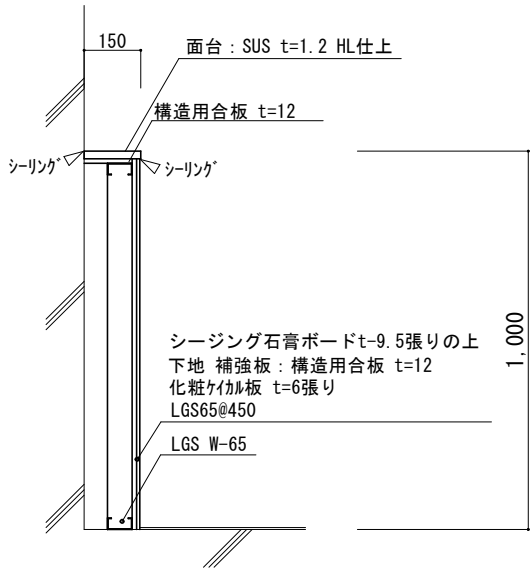
工事名		西ふれあいセンタートップライトほか改修工事				No.				
図面名		座敷便所平面詳細図・断面図			縮尺	1/50		A-10		
岡山市		都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和8年5月					
課長		課長補佐		係長	課員		担当者	承認	検図	製図



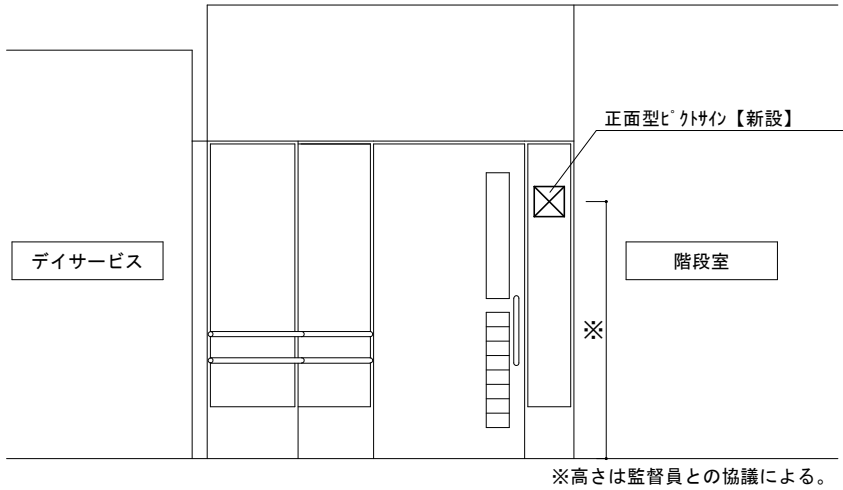
天井伏図 S = 1:50



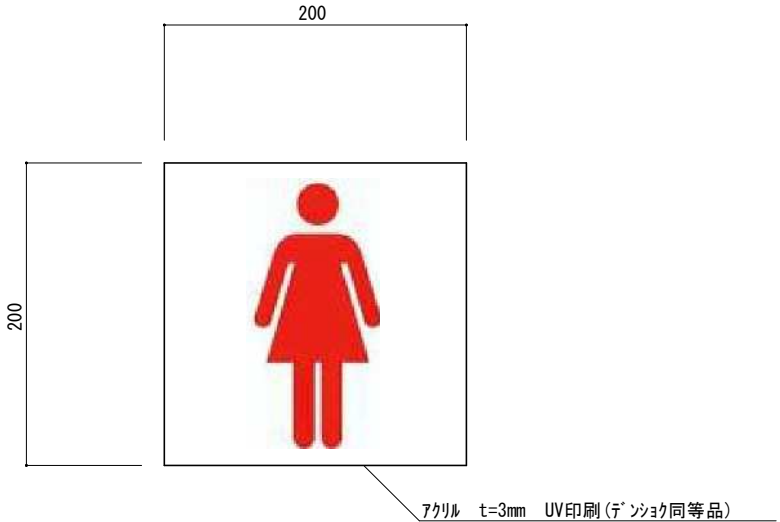
トイレブース姿図 S = 1:50



ライニング断面図 S = 1:20



サイン設置位置図 S = 1:50



サイン図 S = 1:5

工事名				西ふれあいセンタートップライトほか改修工事		No.			
図面名				天井伏図・トイレブース姿図・ライニング断面図・サイン設置位置図・サイン図		縮尺		1/5, 1/20, 1/50	
岡山市				都市整備局		住宅・建築部		公共建築課	
						令和8年5月			
課長		課長補佐		係長		課員		担当	
						承認		検図	



※盤改修 予備ブレーカMCCB50AF20ATを2P1E ELCB50AF/20AT30mAに取替え
名称変更 予備→座敷便所ウォシュレット用

注 壁貫通部分は(E25)で保護し防火区画貫通処理をすること。

1階平面図 S = 1 : 200

工事名	西ふれあいセンタートップライトほか改修工事				N o. E-02
図面名	1階平面図		縮尺	1/200	
岡山市 都市整備局		住宅・建設部	公共建築課	令和6年5月	
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認
					検図
					製図

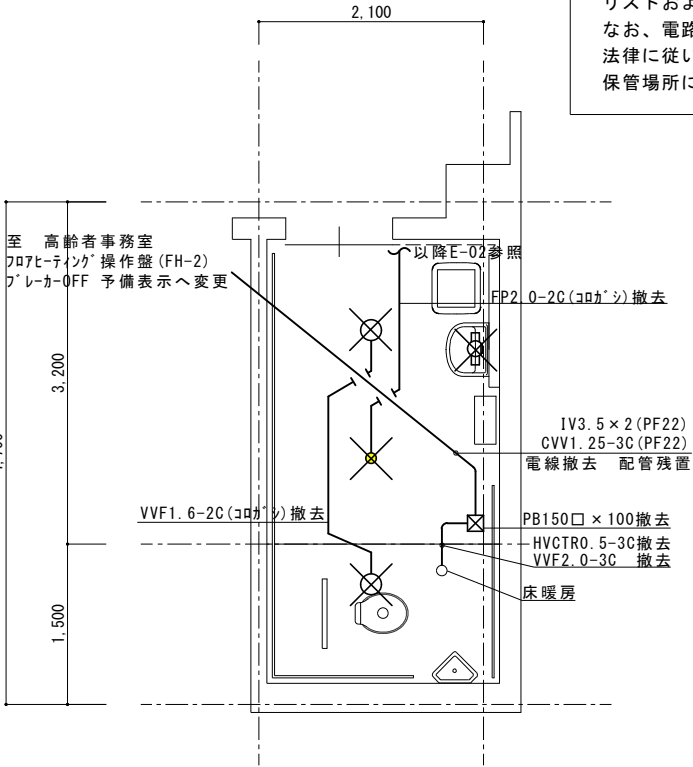
改修前

※照明器具撤去時におけるPCBの調査

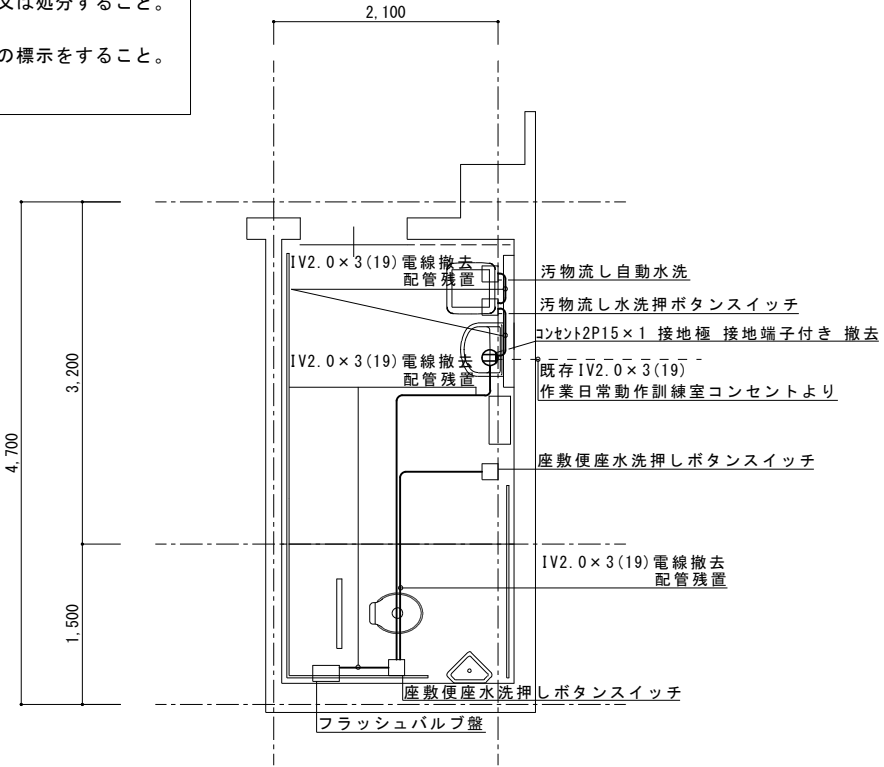
撤去又は取外した照明器具の安定器等については、PCB使用の有無を調査のうえ、リストおよび型番等の分かる写真を添付した報告書を提出し、監督員の承諾を得て引渡し又は処分すること。
なお、電路から取り外したPCB使用機器は特別管理産業廃棄物にあたるので、法律に従いPCB廃棄物の飛散・流出・地下浸透・悪臭発生の防止措置を講じ「PCB汚染物」の標示をすること。
保管場所については、監督員の指示に従うこと

電灯設備撤去凡例

- 蛍光灯ダウンライト
- FL20W×1 露出形
- 非常用ダウンライト照明器具
- ✕ 撤去を示す



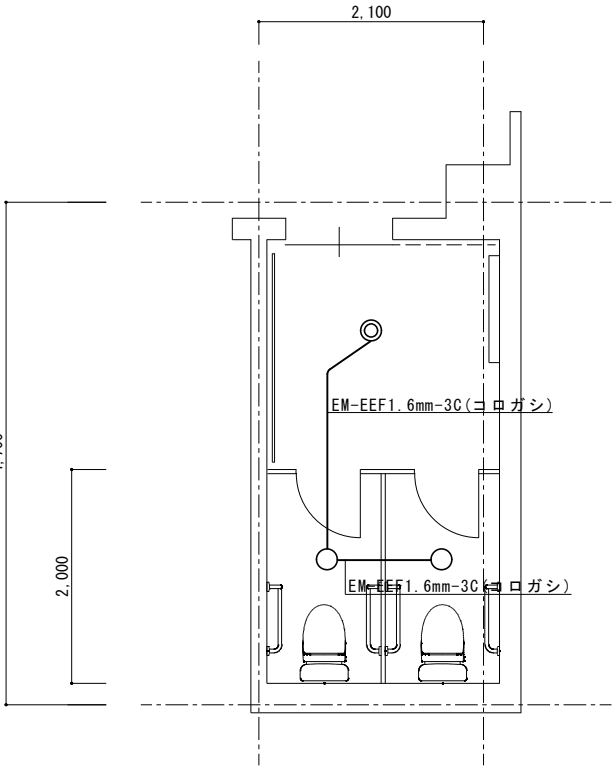
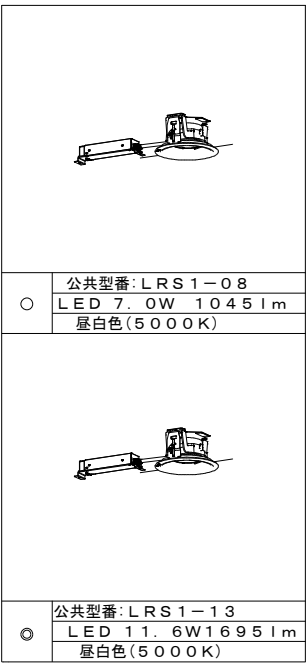
電灯設備平面詳細図（改修前） S = 1:50



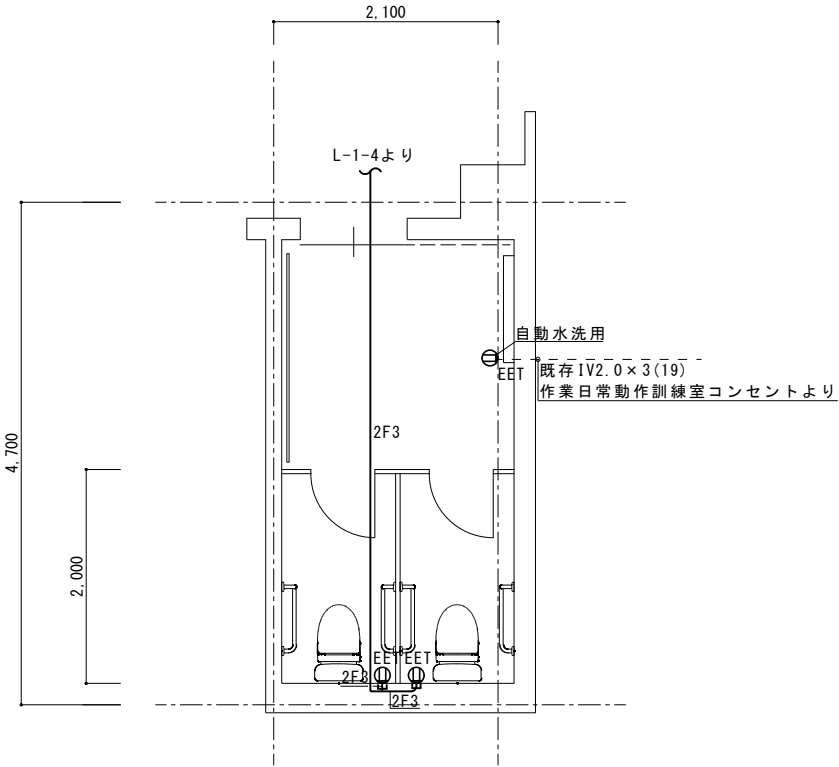
コンセント設備平面詳細図（改修前） S = 1:50

改修後

照明器具姿図 図は参考とする。



電灯設備平面詳細図（改修後） S = 1:50



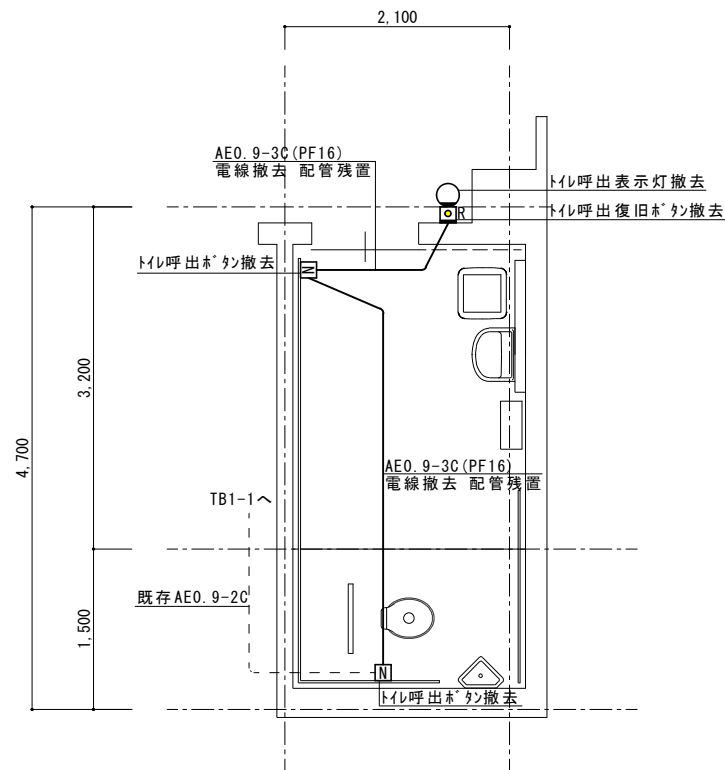
コンセント設備平面詳細図（改修後） S = 1:50

コンセント設備凡例

- ① EET コンセント 2P15A 接地極・接地端子付
- 1種金属線びA型
- 2F3 EM-EEF2.0mm-3C (coreless)

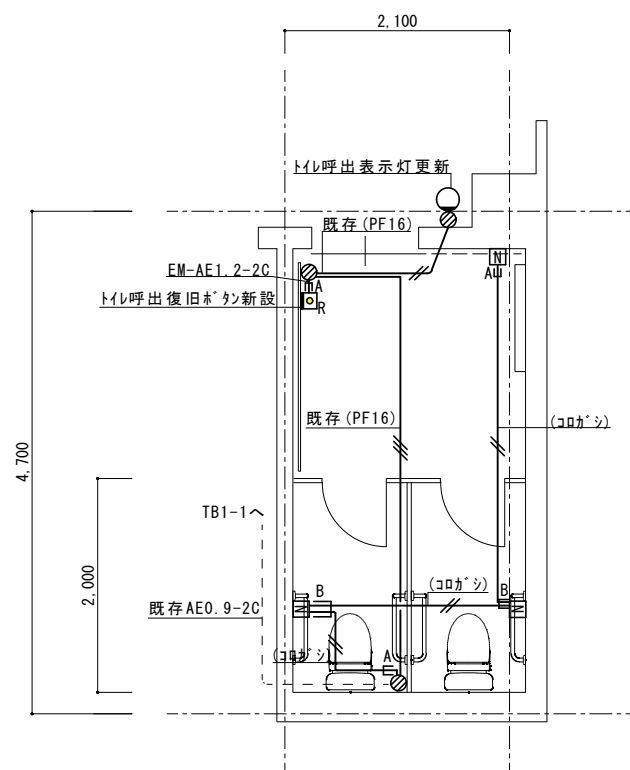
工事名				西ふれあいセンタートップライトほか改修工事		No. E-03			
図面名				トイレ平面詳細図(電灯設備、コンセント設備)					
				縮尺	1/50				
岡山市				都市整備局	住宅・建設部	公共建築課	令和8年5月		
課長		課長補佐		係長	課員	担当者	承認	検図	製図

改修前

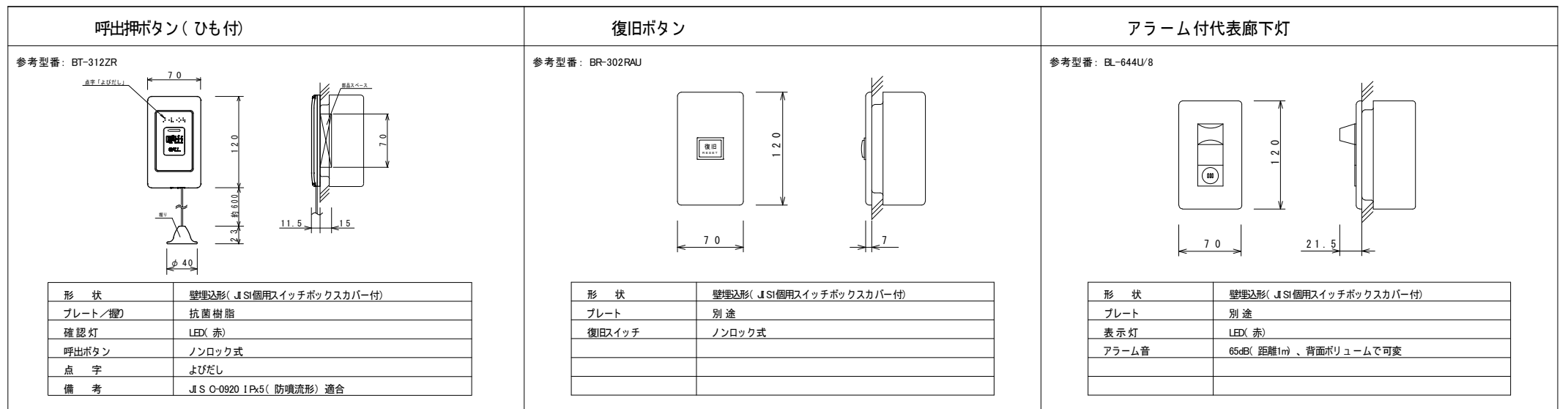


弱電設備平面詳細図（改修前） S = 1:50

改修後



弱電設備平面詳細図（改修後） S = 1:50

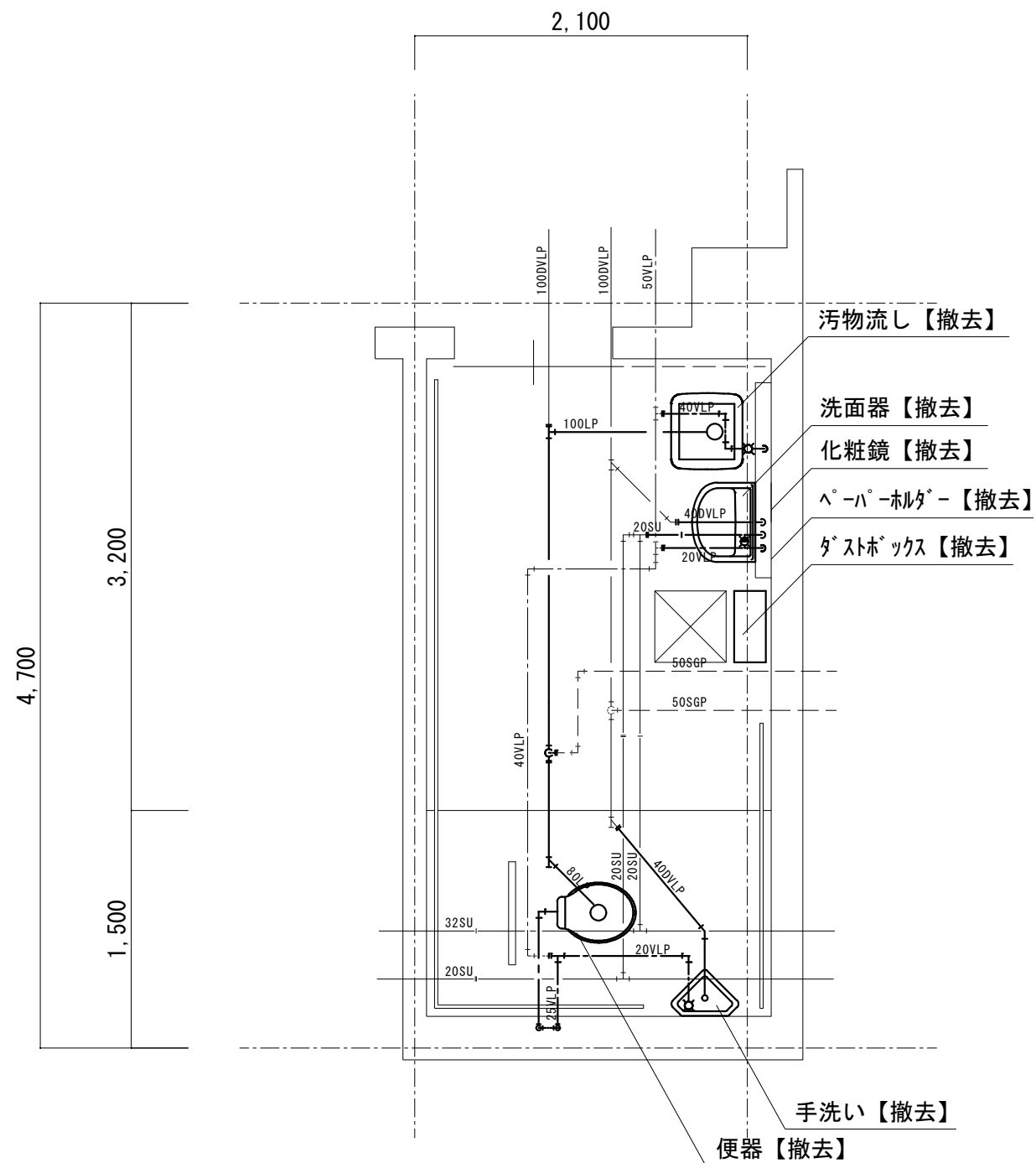


弱電設備凡例

	EM-AE1.2-2C
	EM-AE1.2-3C
	トイレ呼出ボタン 引き紐付き
	1種金属線びA型
	1種金属線びB型
	カバープレート

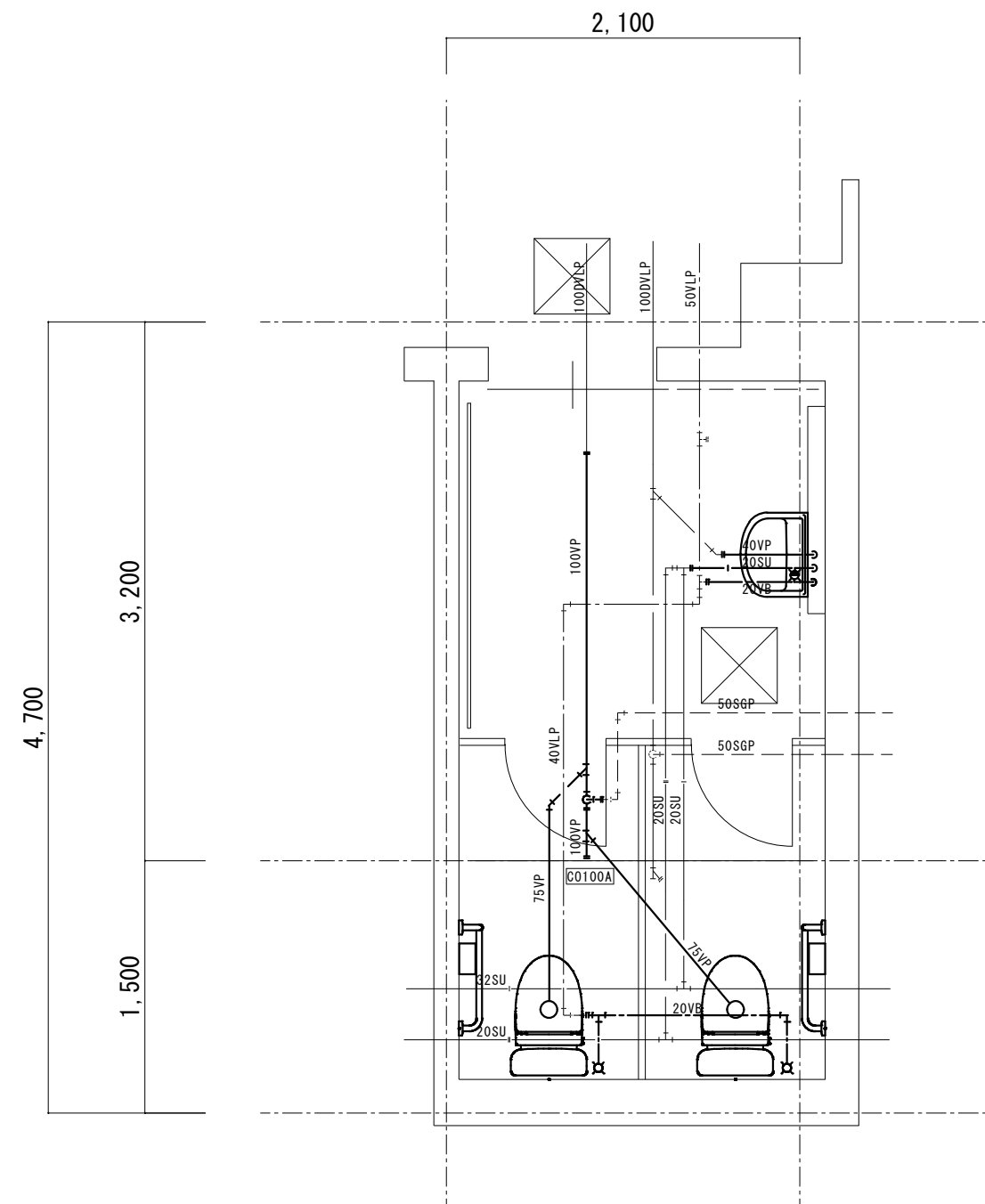
工事名	西ふれあいセンタートップライトほか改修工事				No. E-04		
図面名	トイレ平面詳細図(弱電設備)		縮尺	1/50			
岡山市 都市整備局		住宅・建築部 公共建築課	令和8年5月				
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

改修前



記 号	名 称	備 考
— — — — —	給水管	
— — — — —	給湯管	
— — — — —	排水管	
— — — — —	通気管	

改修後



衛生設備 新設機器リスト

機器名称	参考品番	数量
洋風便器(温水洗浄便座)	CS597BCS SH596BAYR TGF587 その他付属品	2
紙巻器	YH702	2
L型手摺	TI12CL9	2
洗面器	L270CM TLE28SA2A TLDP2201JA TL220D TS126AR	1
化粧鏡	YM3545A	1
ディスペンサー	サラヤ SC-460	1

【太線】・・・新設配管を示す

記 号	名 称	備 考
— — — — —	給水管	
— — — — — 	給湯管	
— — — — —	排水管	
— — — — —	通気管	

工事名	西ふれあいセンタートップライトほか改修工事				N.O.		
図面名	衛生設備平面図（改修前・後）		縮尺	A1... 1/50 A3... 1/100	M-01		
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年5月	M-01		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図